

# 地域の安全と新路線バスについての アンケート調査報告書

令和3年2月

三 芳 町



## 目次

I. 調査の概要	3
1. 調査実施の目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査設計	3
4. 回収結果	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	3
6. 調査回答者の特性	4
II. 調査結果の概要	7
1. 町道幹線19号線の安全対策について	7
2. 町道幹線5号線・17号線のスクールゾーンによる通行規制解除について	7
3. ライフバスの新路線について	7
III. 調査結果の詳細	10
1. 町道幹線19号線の安全対策について	10
(1) 集計結果	10
(2) 地区別集計結果	11
(3) 「賛成である」理由	12
(4) 「反対である」理由	15
(5) 「その他」事由	17
2. 町道幹線5号線・17号線のスクールゾーン解除（通行規制）について	19
(1) 集計結果	19
(2) 地区別集計結果	20
(3) 「賛成である」内訳	21
(4) 「賛成である」内訳地区別集計結果	22
(5) 「賛成である」理由	23
(6) 「反対である」理由	25
(7) 「その他」（解除に向けた条件等）事由	27

3. 路線バスの新規路線について	29
(1) 集計結果	29
(2) 地区別集計結果	30
(3) 「早急に運行してもらいたい」意見等	31
(4) 「どちらともいえない」意見等	33
(5) 「その他」自由意見	35

#### IV. 参考資料

三芳町住民意識調査調査票

自由意見集計

## I 調査の概要

---



## I. 調査の概要

### 1. 調査実施の目的

町内幹線道の安全対策強化及び地域利便性向上に向け、町道幹線 19 号線の安全対策手法、一定の安全対策が実施された幹線 5 号線及び 17 号線のスクールゾーンに伴う交通規制解除、ライフバス新路線に関する意見を聴取し、今後の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施する。

### 2. 調査項目

- (1) 町道幹線 19 号線の安全対策（スクールゾーン指定による通行規制）について
- (2) 町道幹線 5 号線・17 号線のスクールゾーン指定による通行規制の解除について
- (3) 町補助路線（路線バス）の新規路線について

### 3. 調査設計

- (1) 調査地域 三芳町  
①藤久保 2 区・藤久保 3 区・藤久保 4 区  
②北永井 1 区・北永井 2 区・北永井 3 区・藤久保 5 区・藤久保 6 区
- (2) 調査対象 ①②の世帯主
- (3) 標本数 ①1,000 世帯  
②全世帯（5,427 世帯）
- (4) 抽出方法 ①住民基本台帳から無作為に抽出
- (5) 調査方法 ①郵送法（郵送配布—郵送回収）  
②公益財団法人入間東部シルバー人材センター委託  
（シルバー人材センター会員による配布—郵送回収）
- (6) 調査時期 令和 2 年 11 月 16 日（月）～12 月 6 日（日）

### 4. 回収結果

項目	内容
配布票数	6,427 票
有効回収数	1,585 票
有効回収率	24.7%

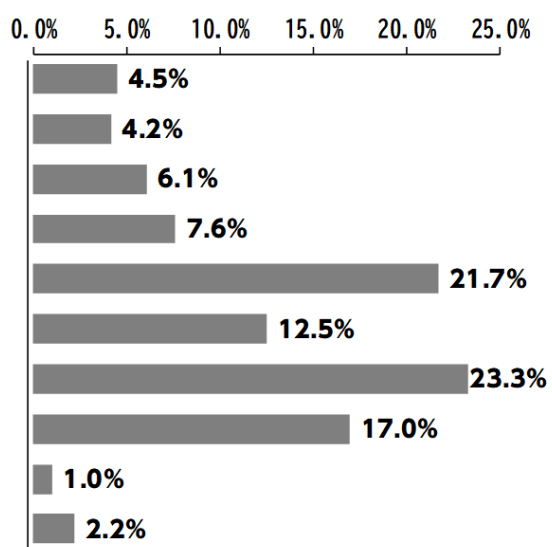
### 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・ 表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示している。
- ・ 百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数点第 2 位を四捨五入して表示している。したがって、単数回答（1 つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて 100%にならない場合がある。
- ・ 本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

## 6. 調査回答者の特性

### ◆居住地区

		基数	構成比
①	藤久保2区	71	4.5%
	藤久保3区	66	4.2%
	藤久保4区	96	6.1%
②	北永井1区	121	7.6%
	北永井2区	344	21.7%
	北永井3区	198	12.5%
	藤久保5区	369	23.3%
	藤久保6区	269	17.0%
	その他	16	1.0%
	未記入等	35	2.2%
全体		1,585	100.0%





## II. 調査結果の概要

---



## II. 調査結果の概要

### 1. 町道幹線19号線の安全対策について

町道幹線19号線の安全対策として「スクールゾーンにより通行を規制（午前7時30分から8時30分までの1時間）すること」について「賛成である」と回答した人が79.7%、「反対である」と回答した人が10.2%となっており、回答者の約8割が「賛成である」と回答している。

地区別にみると「賛成である」と回答した人が最も多かった北永井1区（89.3%）では賛成理由として「道幅が狭い（見通しが悪い）ため」と回答した人（41.9%）が最も多かった。なお、北永井1区では「反対である」の理由として「道路拡幅、歩道設置等の安全対策を優先すべき」と回答する人（40.0%）が最も多い結果となっている。

また、「反対である」と回答した人が最も多かった藤久保5区（15.4%）では「通勤・通学や送迎等に不便が生じるため」（62.5%）、「生活道路であるため」（63.6%）、「規制内容や通学路等を見直す」（54.5%）が5割台を超える結果となっている。

### 2. 町道幹線5号線・19号線のスクールゾーンによる通行規制解除について

歩道が整備され安全性が確保された町道幹線5号線・17号線のスクールゾーン解除（通行規制）を行うことについて「賛成である」と回答した人が77.5%、「反対である」と回答した人が12.2%となっており回答者の約8割弱が「賛成である」と回答している。「賛成である」と回答した内訳では「5号線と17号線」と回答した人が最も多く、53.3%となっている。

「賛成である」と回答した人の理由では「歩道等が整備され安全性が確保されているため」が最も多く53.8%となっている。また、「反対である」と回答した人の理由では「交通量増加、車両のスピード超過が懸念されるため」が最も多く31.6%となっている。

地区別にみると「賛成である」と回答した人が最も多かった地区は藤久保3区（83.3%）となっており「反対である」と回答した人が最も多かった地区は北永井2区（16.6%）となっている。

### 3. ライフバスの新路線について

路線バスの新規路線について、「早急に運行してもらいたい」と回答した人が43.7%、「どちらともいえない」と回答した人が33.2%となっている。

「早急に運行してもらいたい」と回答した人の自由意見では「利便性向上に関すること」が41.6%で最も多く、「どちらともいえない」と回答した人の自由意見では「分からない」が15.1%で最も多くなっている。

地区別にみると「早急に運行してもらいたい」と回答した人が最も多かった地区は藤久保6区が53.9%となっており、次いで藤久保3区の53.0%となっている。



### Ⅲ. 調査結果の詳細

---

### Ⅲ. 調査結果の詳細

#### 1. 町道幹線19号線の安全対策について

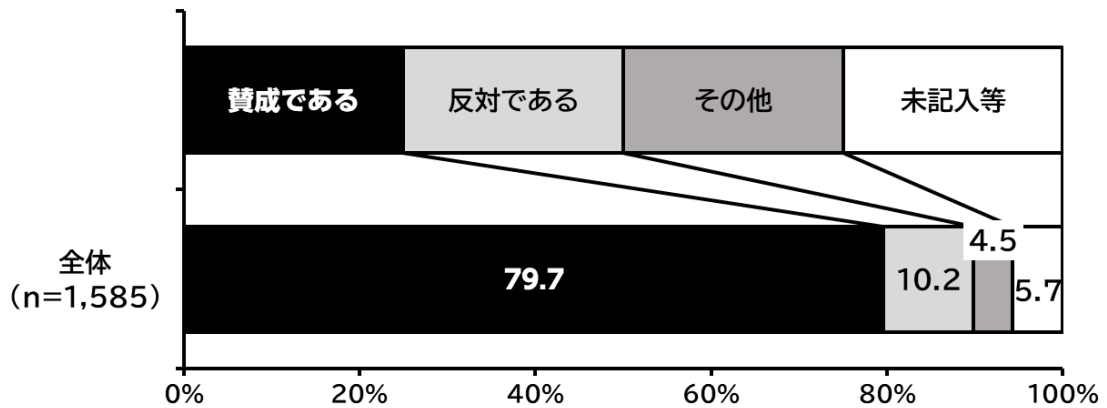
質問2 19号線は、学校・PTAから安全対策の要望が出されていますが、その一つとしてスクールゾーンにより通行を規制（午前7時30分から8時30分までの1時間）することをどう考えますか？該当する項目に☑をつけてください。」

- 「賛成」という人が79.7%、「反対」という人が10.2%となっている。

##### (1) 集計結果

- ・ 町道幹線19号線の安全対策について、「スクールゾーンにより通行を規制（午前7時30分から8時30分までの1時間）すること」について「賛成」が79.7%で「反対」の10.2%を69.5ポイント上回っている。

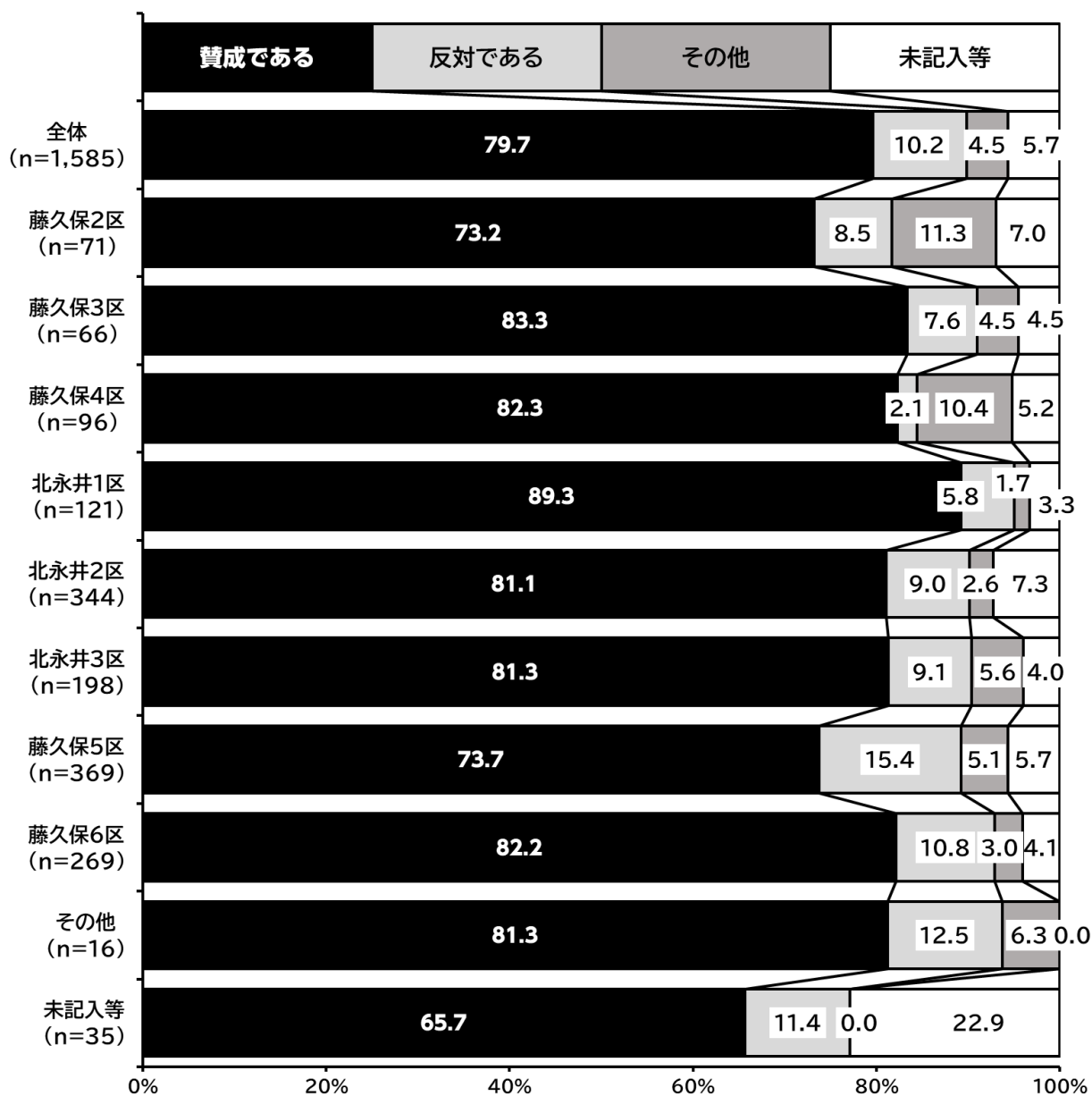
図表1-1 町道幹線19号線の安全対策(n=1,585)  
(スクールゾーンによる交通規制)



(2) 地区別集計結果

- ・ 地区別にみるとすべての地区で「賛成である」が「反対である」を上回っている。
- ・ 地区別にみるとすべての地区で「賛成である」が7割台を超えており、最も多かった地区は北永井1区の89.3%となっている。
- ・ 地区別にみると「反対である」が最も多かった地区は藤久保5区の15.4%となっている。

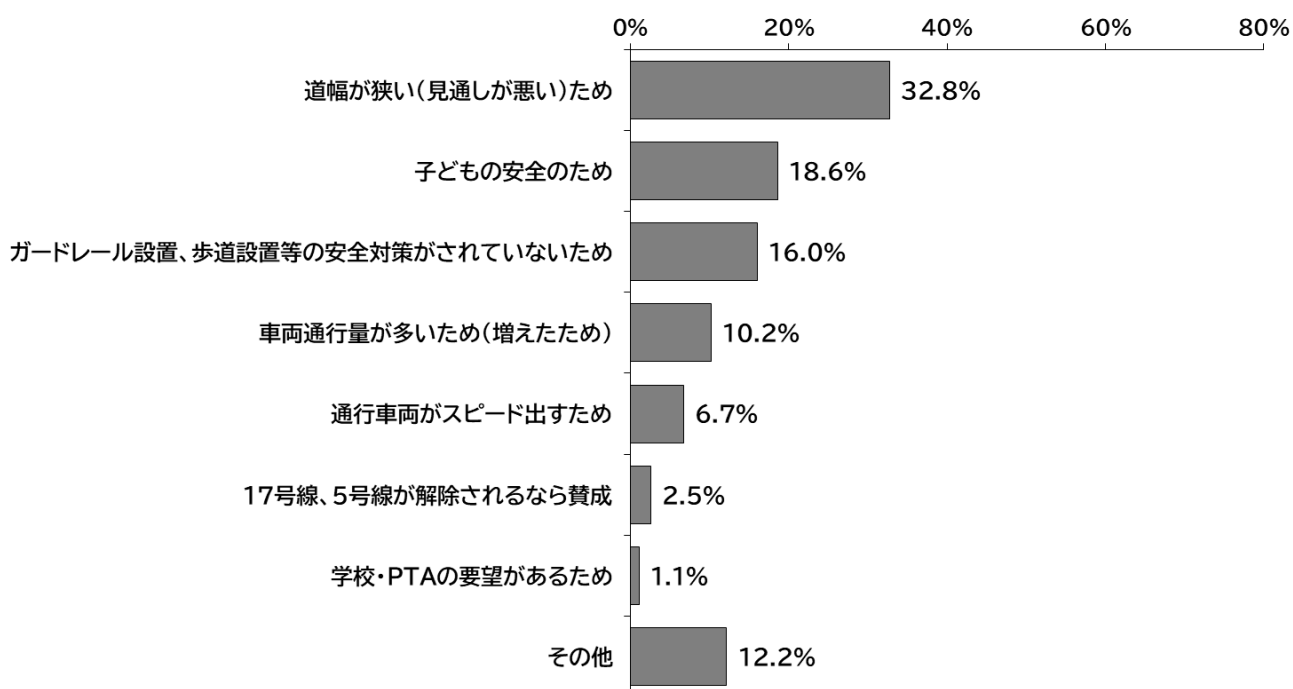
図表1-2 地区別 町道幹線19号線の安全対策(n=1,585)  
(スクールゾーンによる交通規制)



### (3) 「賛成である」理由

- ・ 「賛成である」と回答した理由の自由意見では「道幅が狭い（見通しが悪い）ため」（32.8%）が最も多く、「子どもの安全のため」（18.6%）、「ガードレール設置、歩道設置等の安全対策がされていないため」（16.0%）と続いている。
- ・ 「道幅が狭い（見通しが悪い）ため」は北永井1区で41.9%、北永井2区で35.5%、北永井3区で33.3%、藤久保5区で32.7%となっており3割台を超えている。

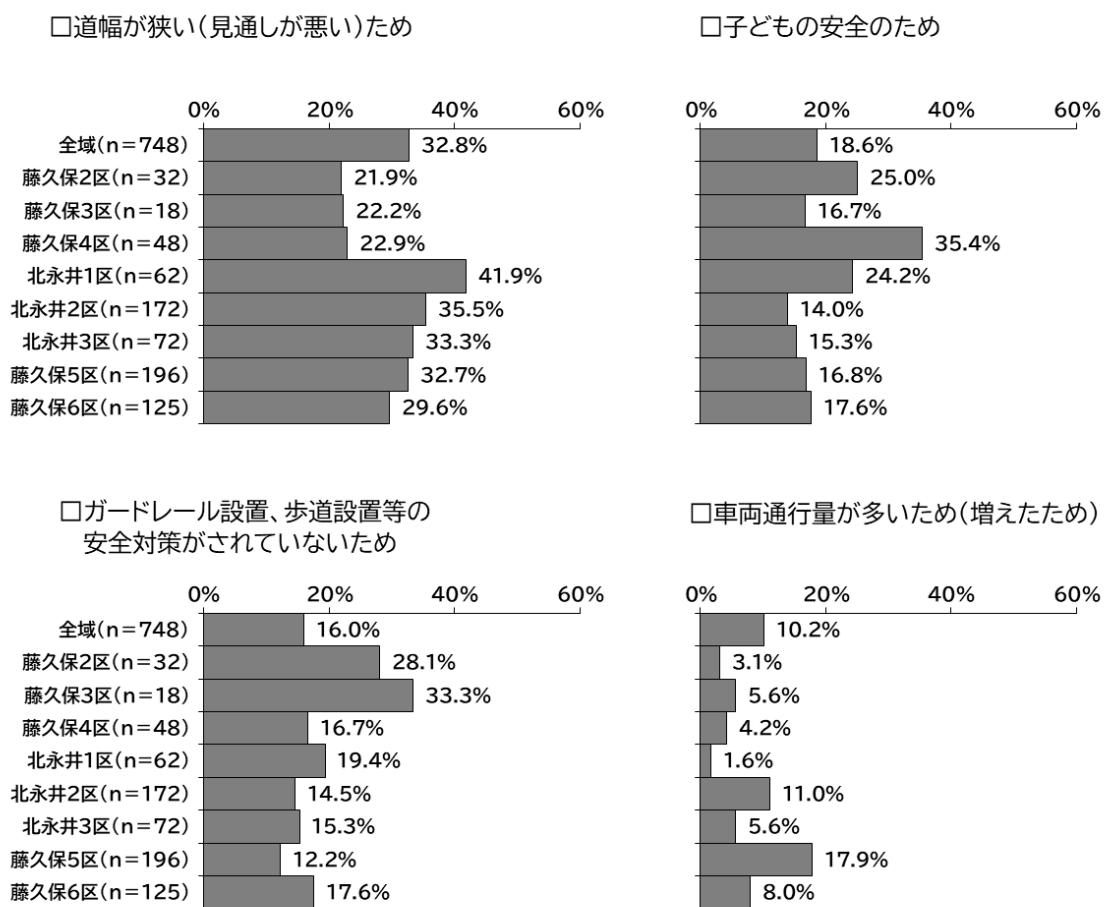
図表1-3 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「賛成」理由(n=748)





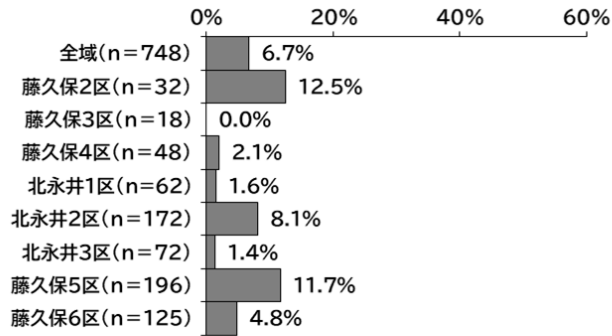
- ・ 「子どもの安全のため」は藤久保4区（35.4%）で最も多くなっている。
- ・ 「ガードレール設置、歩道設置等の安全対策がされていないため」は藤久保3区（33.3%）で最も多くなっている。
- ・ 「車両通行量が多いため（増えたため）」は藤久保5区（17.9%）で最も多くなっている。

図表1-4-1 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「賛成」理由(地区別)

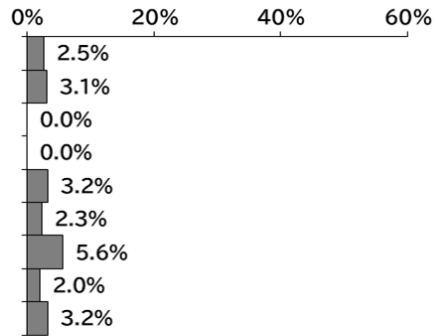


図表1-4-2 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「賛成」理由(地区別)

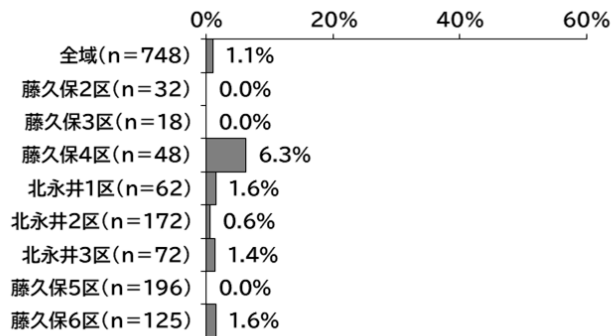
□通行車両がスピード出すため



□17号線、5号線が解除されるなら賛成



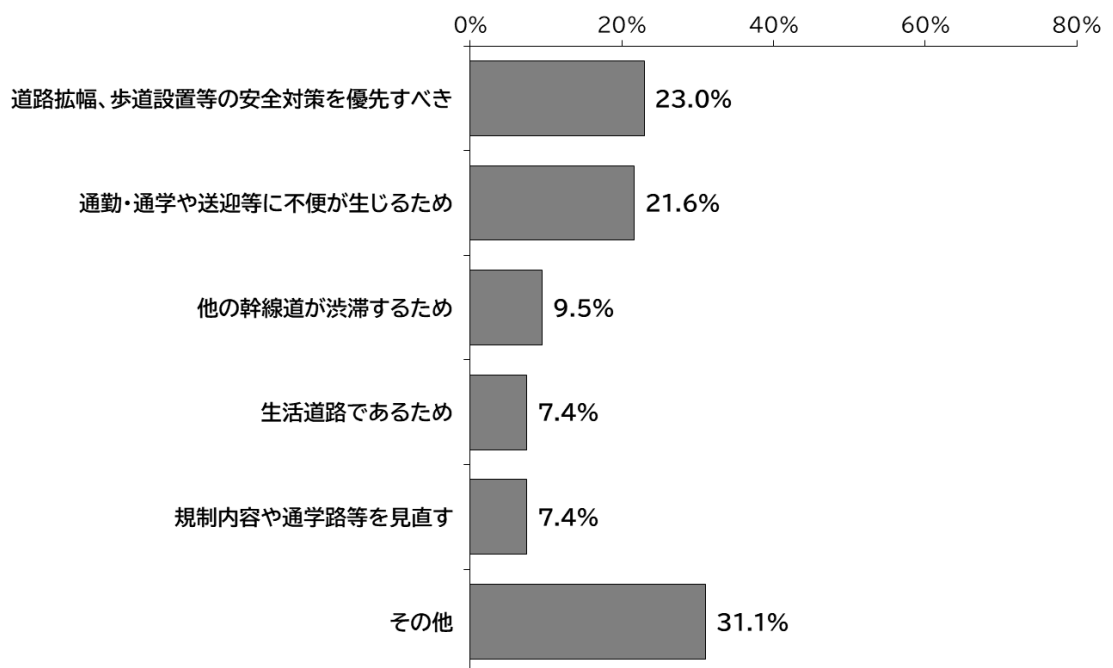
□学校・PTAの要望があるため



(4)「反対である」理由

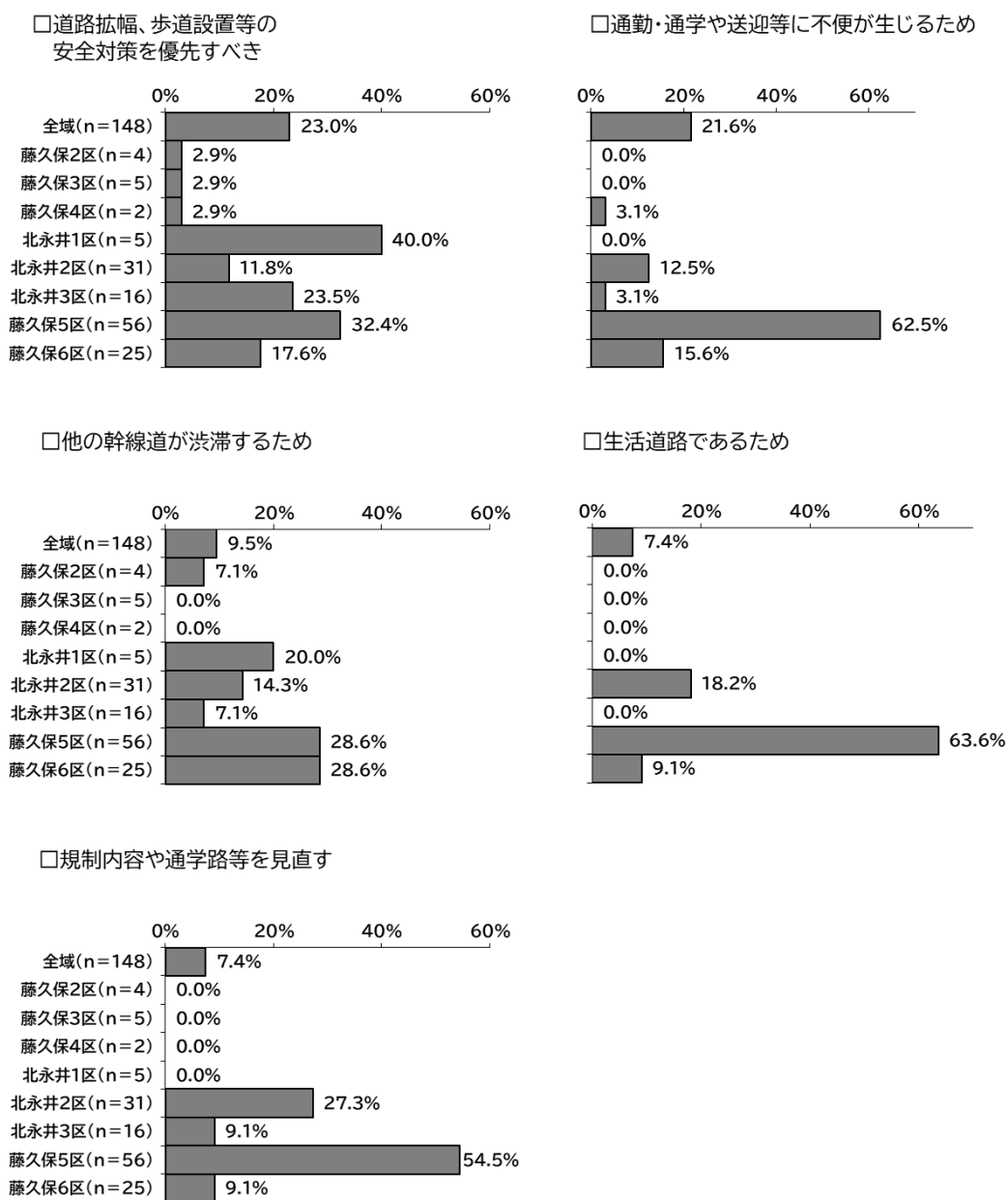
- ・ 「反対である」と回答した理由の自由意見では「道路拡幅、歩道設置等の安全対策を優先すべき」(23.0%)が最も多く、「通勤・通学や送迎等に不便が生じるため」(21.6%)、「他の幹線道が渋滞するため」(9.5%)と続いている。

図表1-5 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「反対」理由(n=148)



- ・ 「道幅拡幅、歩道設置等の安全対策を優先すべき」は北永井1区で40.0%、藤久保5区で32.4%となっており3割台を超えている。
- ・ 藤久保5区では、「通勤・通学や送迎等に不便が生じるため」(62.5%)、「生活道路であるため」(63.6%)、「規制内容や通学路等を見直す」(54.5%)が5割台を超えている。
- ・ 「他の幹線道が渋滞するため」は藤久保5区、6区で28.6%、北永井1区で20.0%となっており2割台を超えている。

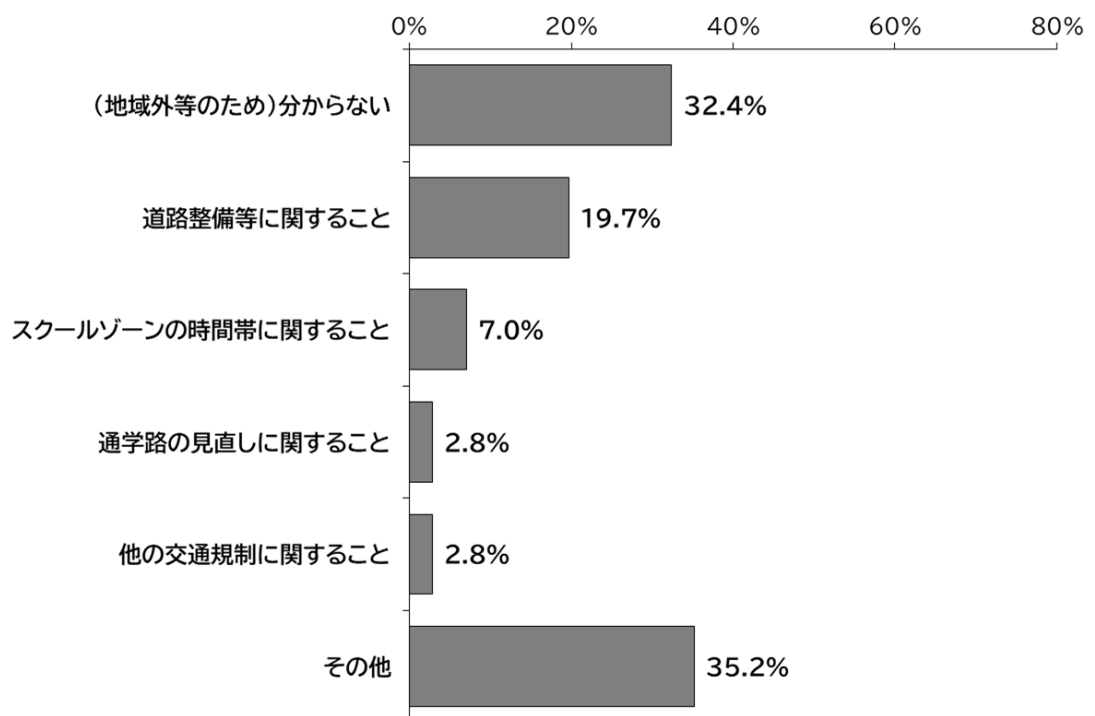
図表1-6 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「反対」理由(地区別)



(5) 「その他」事由

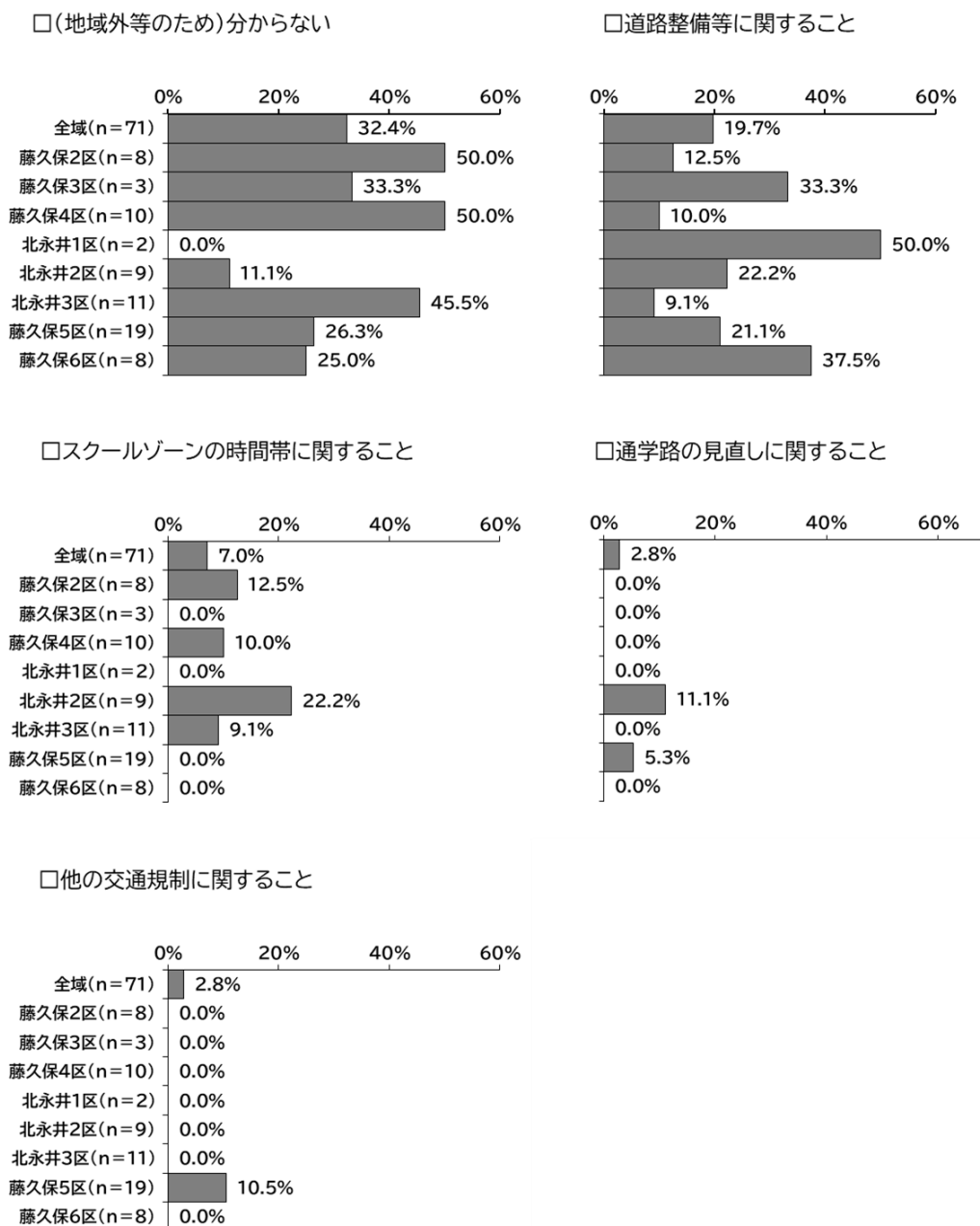
- ・ 「その他」と回答した理由の自由意見では「(地域外等のため) 分からない」(32.4%) が最も多く、「道路整備等に関すること」(19.7%)、「スクールゾーンの時間帯に関すること」(7.0%) と続いている。

図表1-7 町道幹線19号線の安全対策 (スクールゾーンによる交通規制)  
「その他」理由(n=71)



- ・ 「(地域外等のため)分からない」は藤久保2区、4区で50.0%、北永井1区で45.5%となっており4割台を超えている。
- ・ 「道路整備等に関すること」は北永井1区で50.0%、藤久保6区で37.5%、藤久保3区で33.3%となっており3割台を超えている。

図表1-8 町道幹線19号線の安全対策（スクールゾーンによる交通規制）  
「その他」理由(地区別)



## 2. 町道幹線5号線・17号線のスクールゾーン解除（通行規制）について

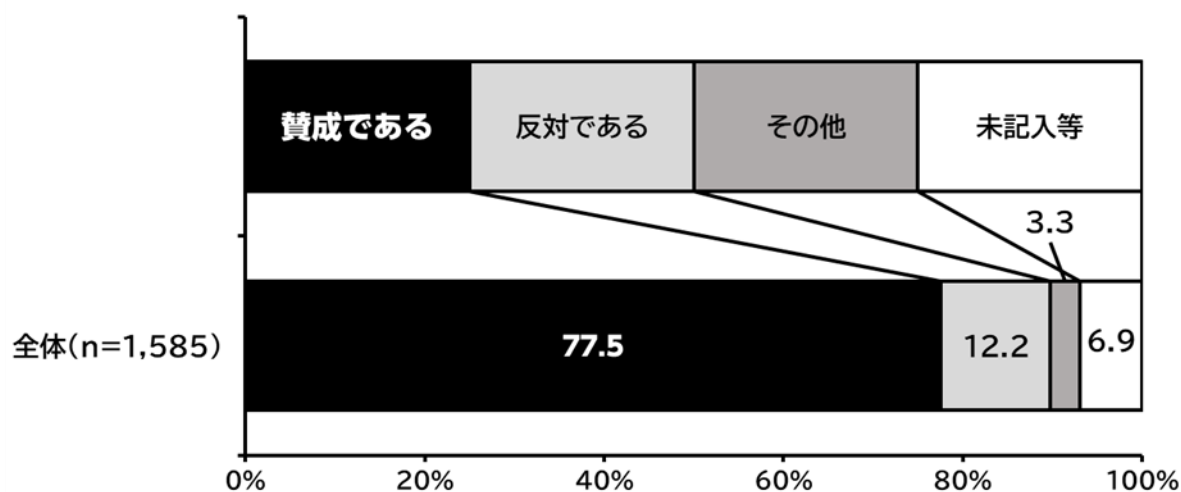
質問3 歩道が整備され安全性が確保された町道幹線5号線（北永井2区集会所前交差点～役場入口交差点）と幹線17号線のスクールゾーン（通行規制）の解除を行うことについて、どの様にお考えですか？該当する項目に☑をつけてください。」

- 「賛成」という人が77.5%、「反対」という人が12.2%となっている。

### (1) 集計結果

- ・ 歩道が整備され安全性が確保された町道幹線5号線（北永井2区集会所前交差点～役場入口交差点）と幹線17号線の「スクールゾーン（通行規制）の解除を行うこと」について「賛成」が77.5%で「反対」の12.2%を65.3ポイント上回っている。

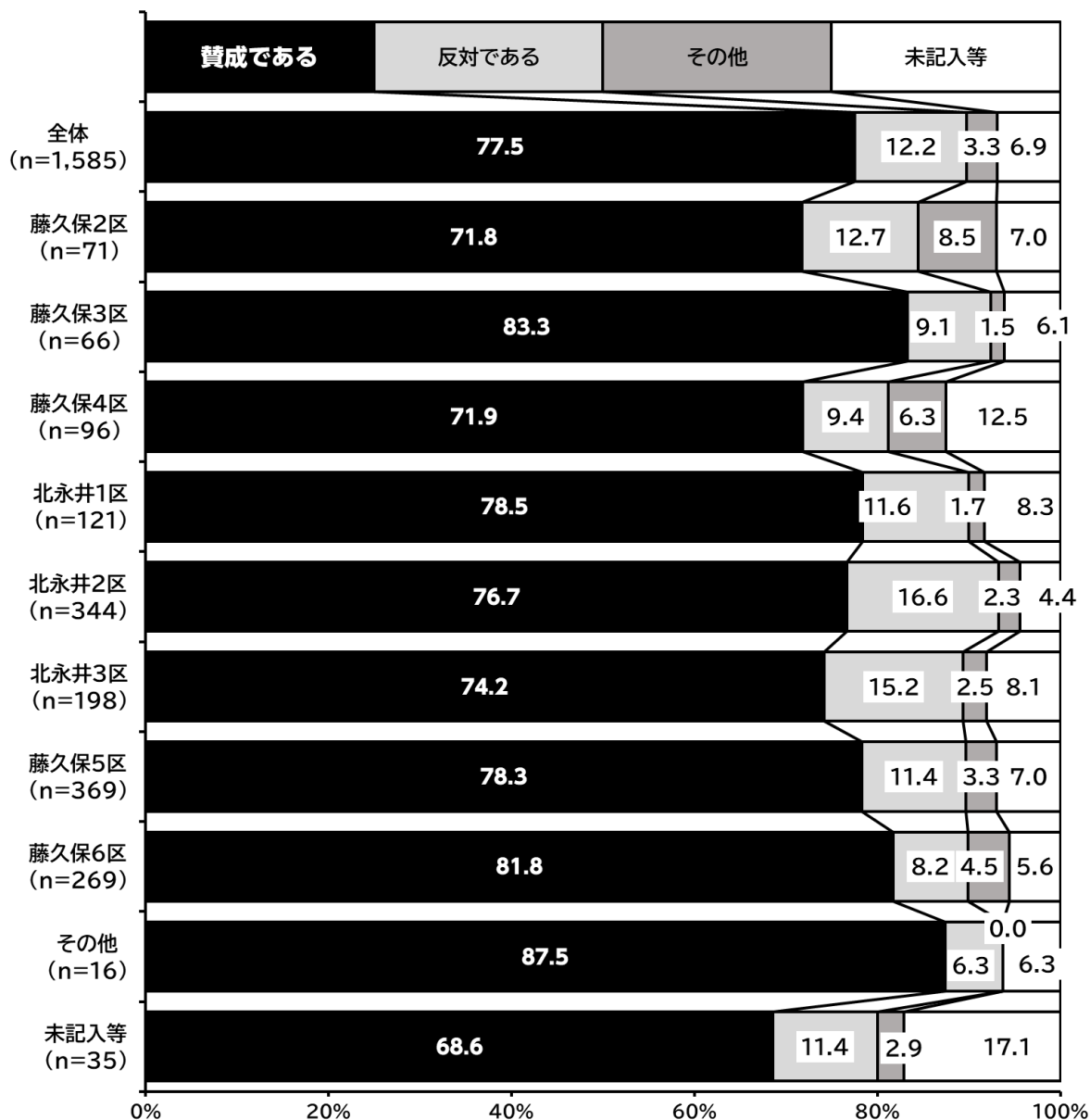
図表2-1 町道幹線5号線、17号線について(n=1,585)  
(スクールゾーンによる通行規制解除)



(2) 地区別集計結果

- ・ 地区別にみるとすべての地区で「賛成である」が「反対である」を上回っている。
- ・ 地区別にみるとすべての地区で「賛成である」が7割台を超えており、最も多かった地区は藤久保3区の83.3%となっている。
- ・ 地区別にみると「反対である」が最も多かった地区は北永井2区の16.6%となっている。

図表2-2 地区別 町道幹線5号線、7号線について(n=1,585)  
(スクールゾーンによる通行規制解除)

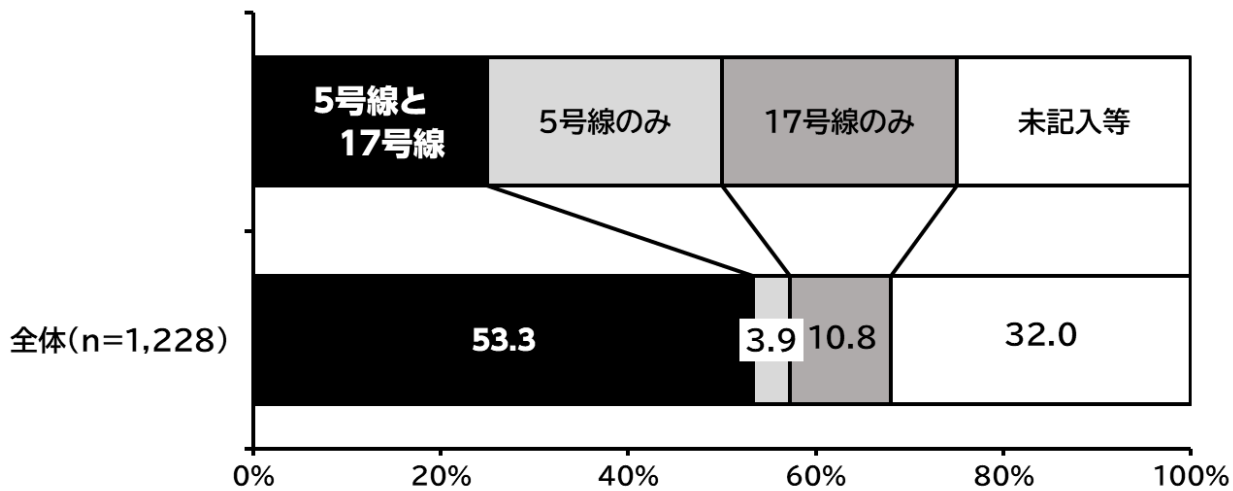




(3) 「賛成である」内訳

- ・ 「賛成である」と回答した内訳では「5号線と17号線」(53.3%)が最も多く、「17号線のみ」(10.8%)、「5号線のみ」(3.9%)と続いている。

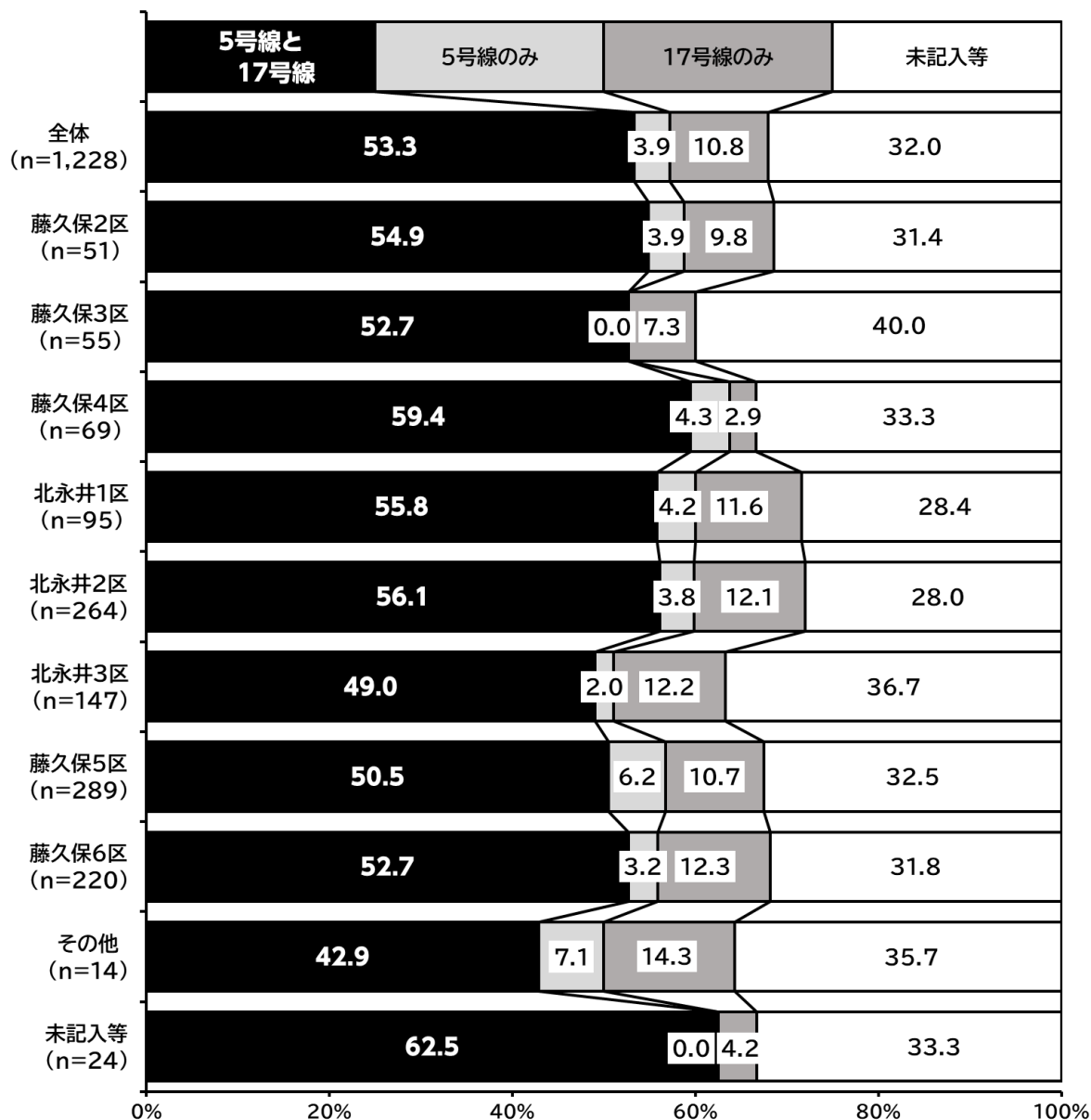
図表2-3 町道幹線5号線、7号線について(n=1,585)  
(幹線別 スクールゾーンによる通行規制解除)



(4)「賛成である」内訳地区別集計結果

- ・ 地区別にみるとすべての地区で「5号線と17号線」が最も多くなっている。
- ・ 地区別にみるとすべての地区で「5号線と17号線」が4割台を超えており、最も多かった地区は藤久保4区の59.4%となっており、最も少なかった地区は北永井3区の49.0%となっている。

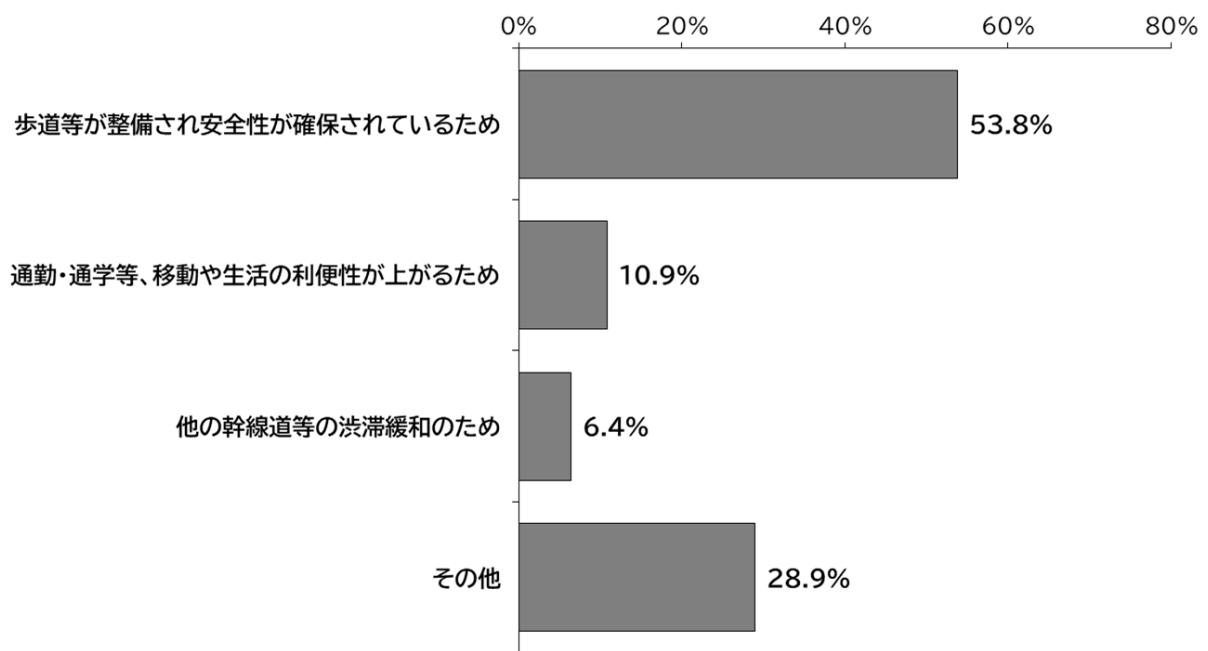
図表2-4 地区別 町道幹線5号線、7号線について(n=1,585)  
(幹線別 スクールゾーンによる通行規制解除)



(5) 「賛成である」理由

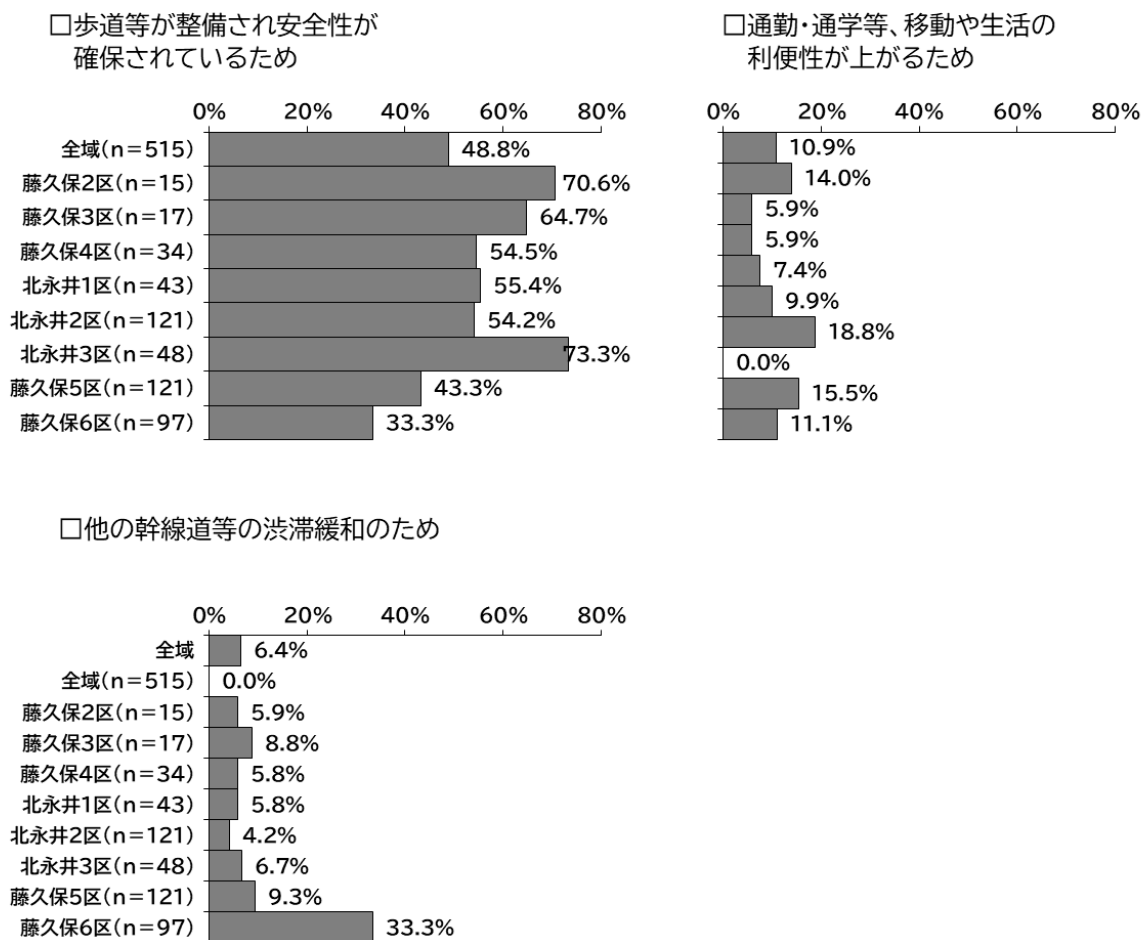
- ・ 「賛成である」と回答した理由の自由意見では「歩道等が整備され安全性が確保されているため」(53.8%)が最も多く、「通勤・通学等、移動や生活の利便性が上がるため」(10.9%)、「他の幹線道等の渋滞緩和のため」(6.4%)と続いている。

図表2-5 町道幹線5号線、17号線について (スクールゾーンによる通行規制解除)  
「賛成」理由(n=515)



- ・ 「歩道等が整備され安全性が確保されているため」は藤久保5区、6区以外の全ての地区で5割台をこえており、北永井3区が73.3%で最も多くなっている。
- ・ 「通勤・通学等、移動や生活の利便性が上がるため」は北永井2区で18.8%となっており最も多くなっている。

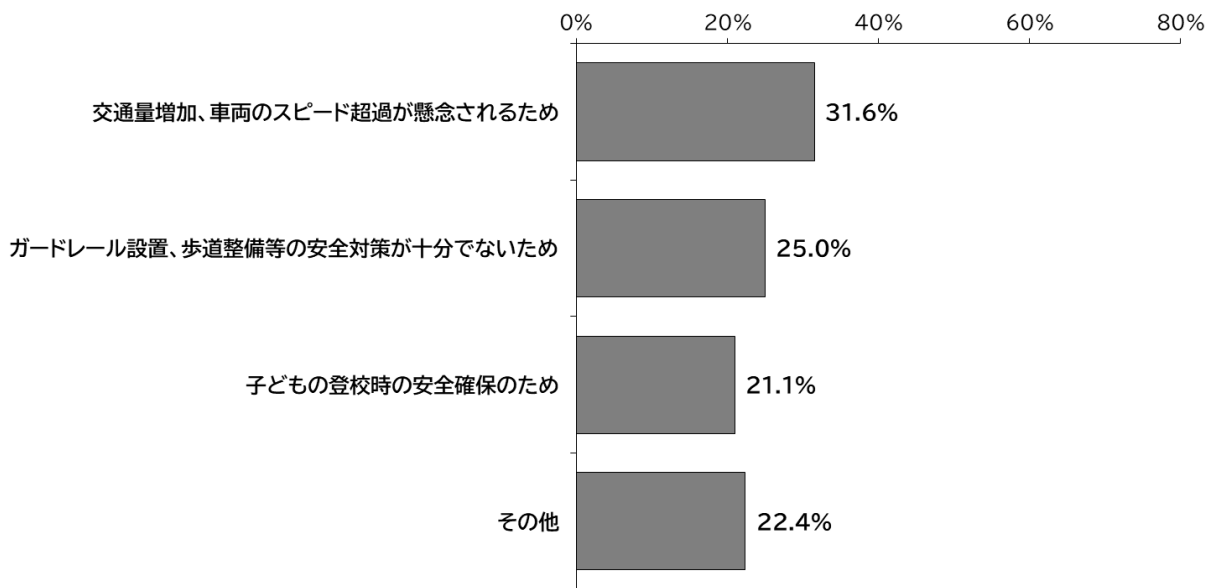
図表2-6 町道幹線5号線、17号線について（スクールゾーンによる通行規制解除）  
「賛成」理由(地区別)



(6) 「反対である」理由

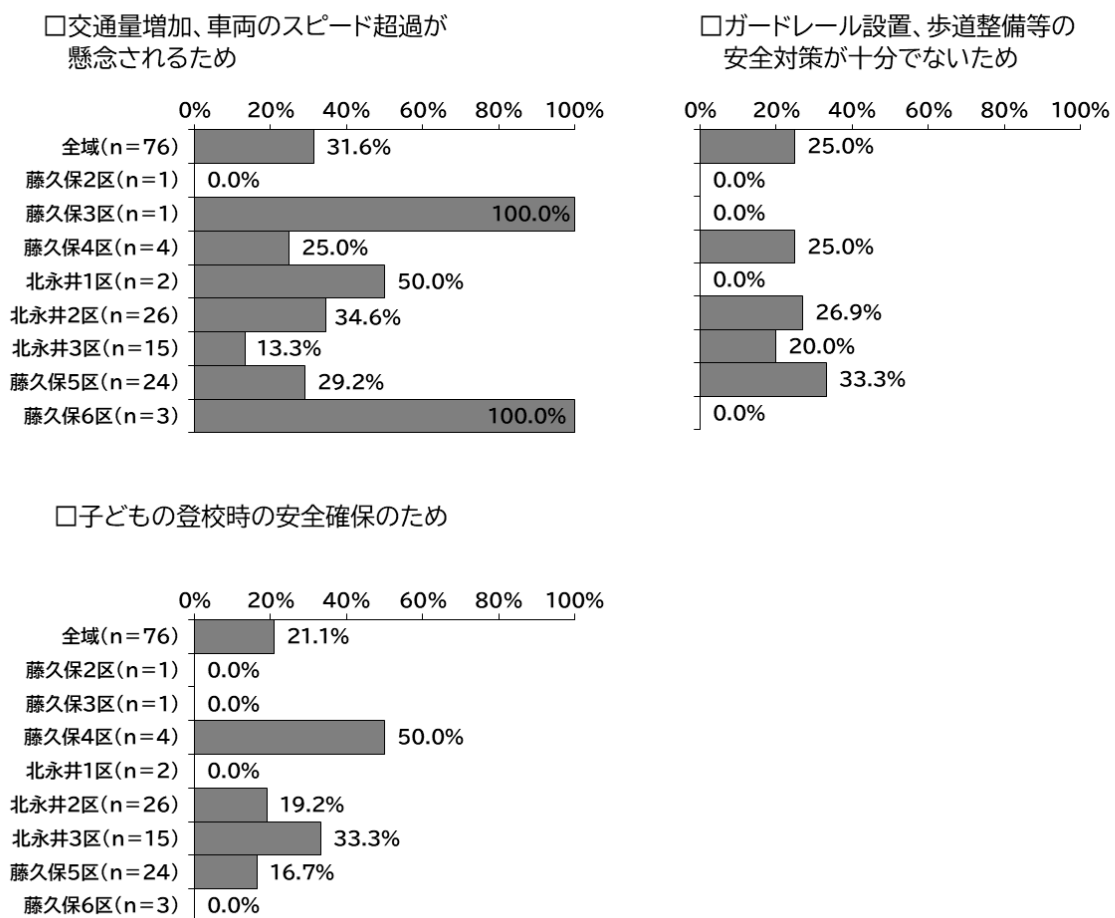
- ・ 「反対である」と回答した理由の自由意見では「交通量増加、車両のスピード超過が懸念されるため」(31.6%) が最も多く、「ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため」(25.0%)、「子どもの登校時の安全確保のため」(21.1%)と続いている。

図表2-7 町道幹線5号線、17号線について (スクールゾーンによる通行規制解除)  
「反対」理由(n=76)



- ・ 「交通量増加、車両のスピード超過が懸念されるため」は藤久保2区、北永井3区以外の全ての地区で2割台を超えている。
- ・ 「ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため」は藤久保5区で33.3%となっており最も多くなっている。
- ・ 「子どもの登校時の安全確保のため」は藤久保4区で50.0%となっており最も多くなっている。

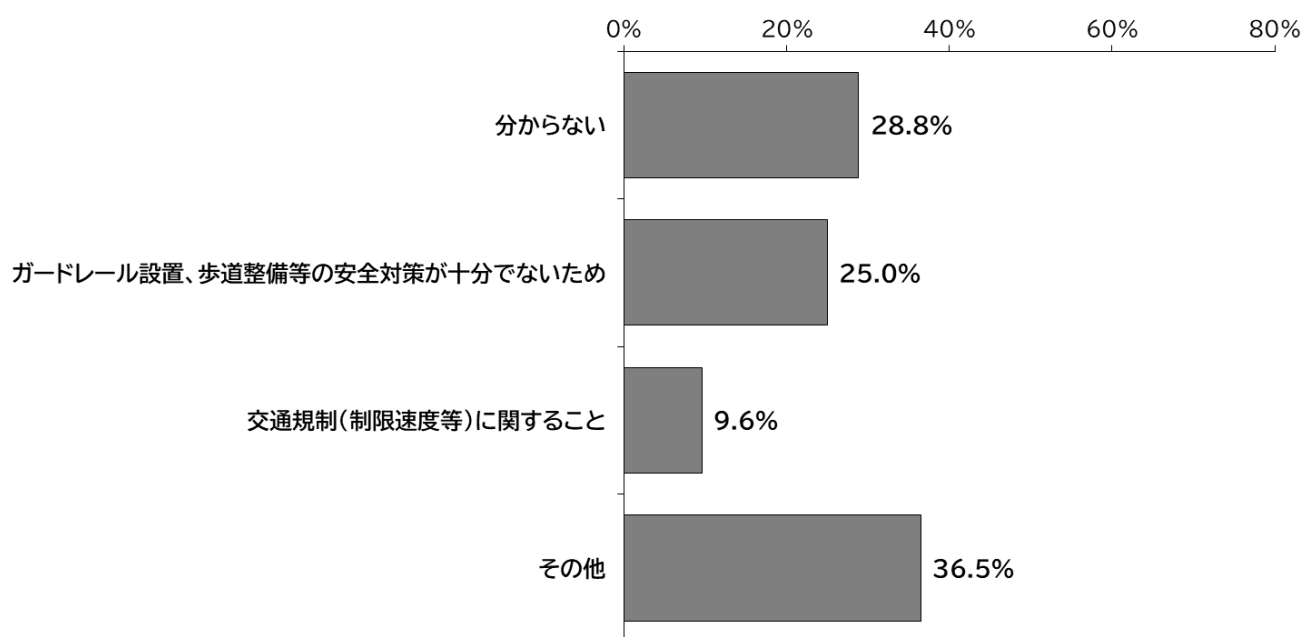
図表2-8 町道幹線5号線、17号線について（スクールゾーンによる通行規制解除）  
「反対」理由(地区別)



(7) 「その他」(解除に向けた条件等) 事由

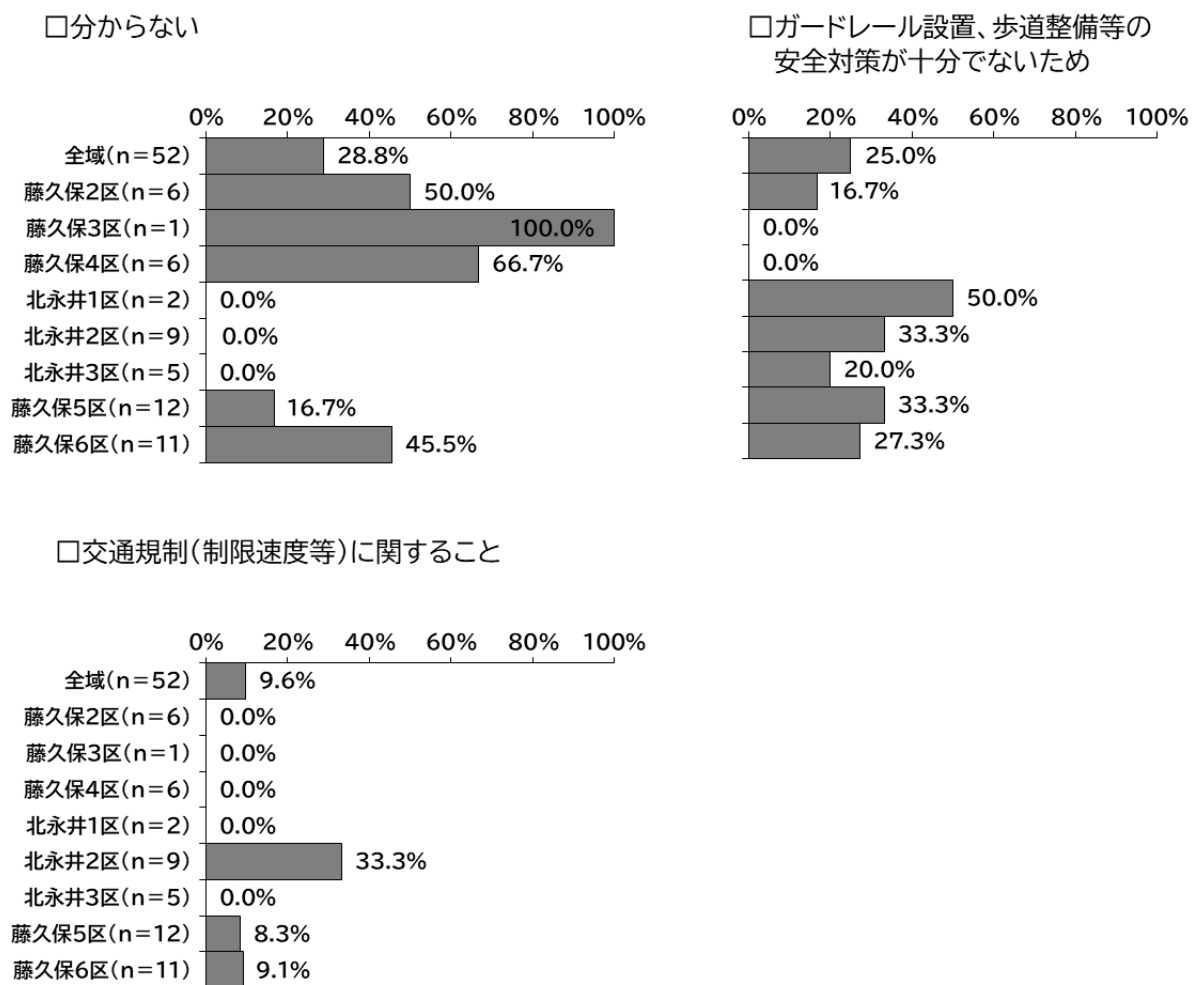
- ・ 「その他」と回答した理由の自由意見では「分からない」(28.8%)が最も多く、「ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため」(25.0%)、「交通規制(制限速度等)に関すること」(9.6%)と続いている。

図表2-9 町道幹線5号線、17号線について(スクールゾーンによる通行規制解除)  
その他(解除に向けた意見等)(n=52)



- ・ 「分からない」は北永井1区、2区、3区、藤久保5区以外で4割台を超えている。
- ・ 「ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため」は藤久保2区、3区、4区以外は2割台を超えている。
- ・ 「交通規制(制限速度等)に関すること」は北永井2区で33.3%となっており最も多くなっている。

図表2-10 町道幹線5号線、17号線について（スクールゾーンによる通行規制解除）  
「その他(解除に向けた条件等)」理由(地区別)





### 3. 路線バスの新規路線について

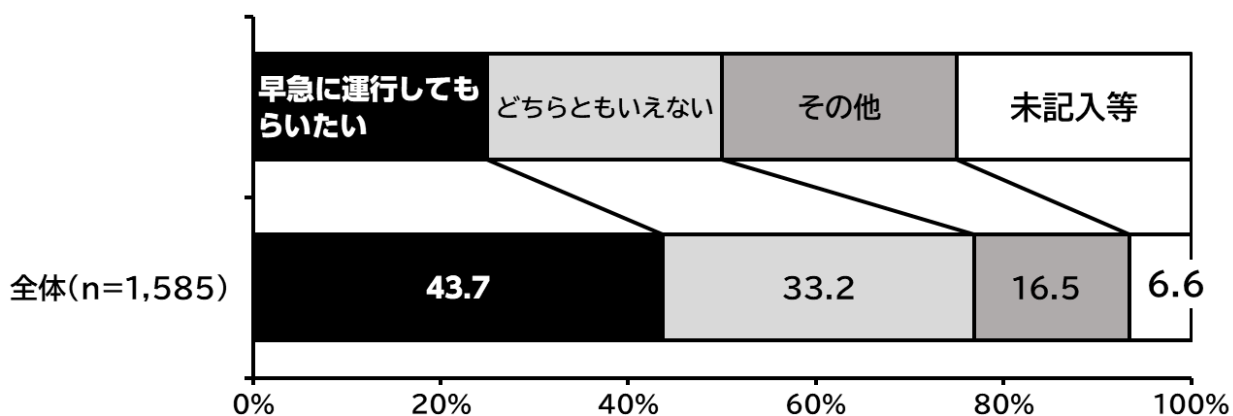
質問4 町では平成29年度より、ライフバスが運行していない地域に新路線を運行する計画をしております。町道幹線5号線、17号線については歩道整備がされ、安全対策を行ったことによりスクールゾーンを解除して新路線の開通についてのご意見をお聞かせください。

- 「早急に運行してもらいたい」という人が43.7%、「どちらともいえない」という人が33.2%となっている。

#### (1) 集計結果

- ・ 路線バスの新路線について、「早急に運行してもらいたい」が43.7%で「どちらともいえない」の33.2%を10.5ポイント上回っている。

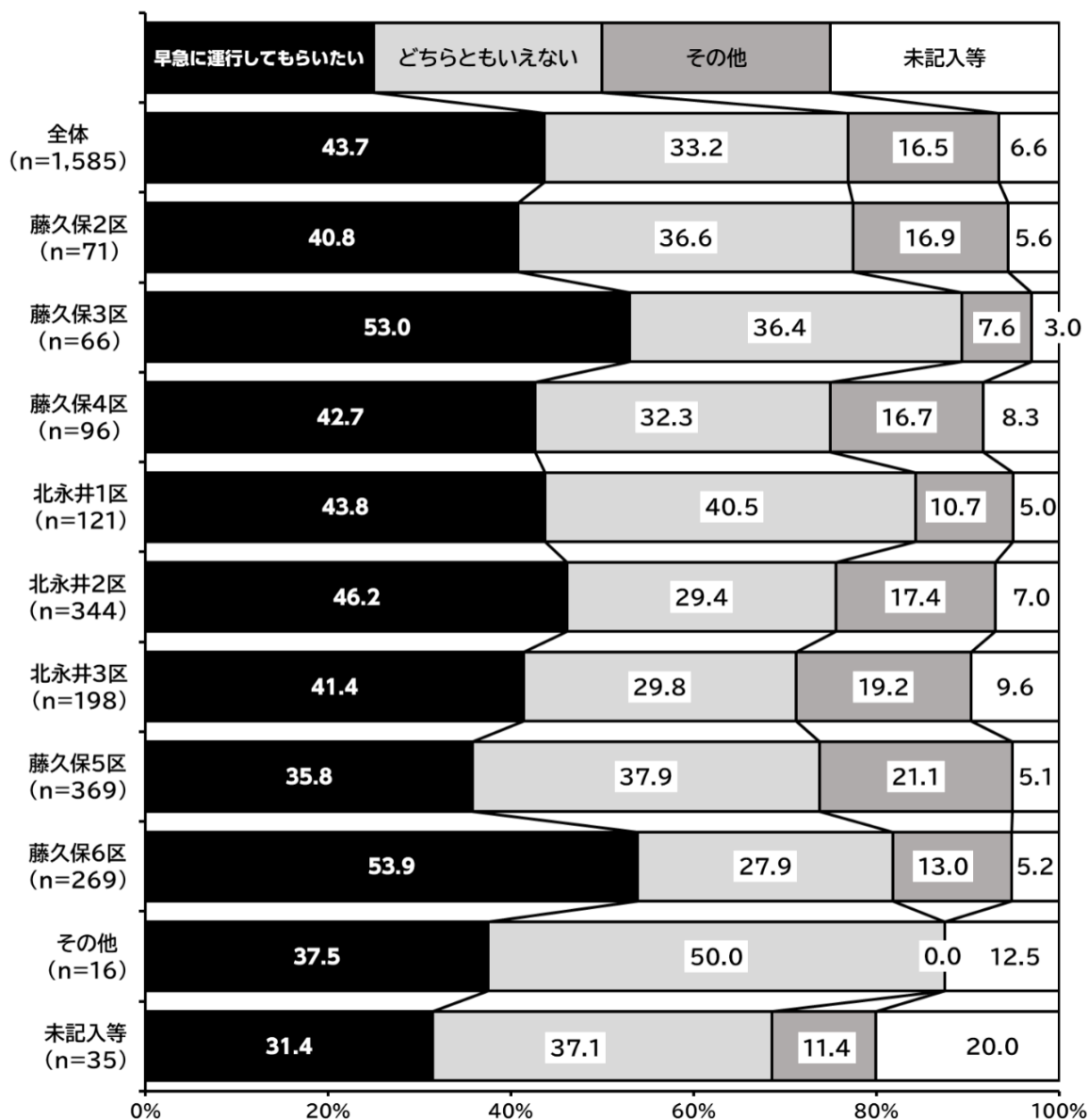
図表3-1 新路線について(n=1,585)



(2) 地区別集計結果

- ・ 地区別にみるとすべての地区で「早急に運行してもらいたい」が3割台を超えており、藤久保3区、6区では5割台を超えている。
- ・ 地区別にみると藤久保5区は「どちらともいえない」(37.9%)となっており「早急に運行してもらいたい」(35.8%)を上回っている。

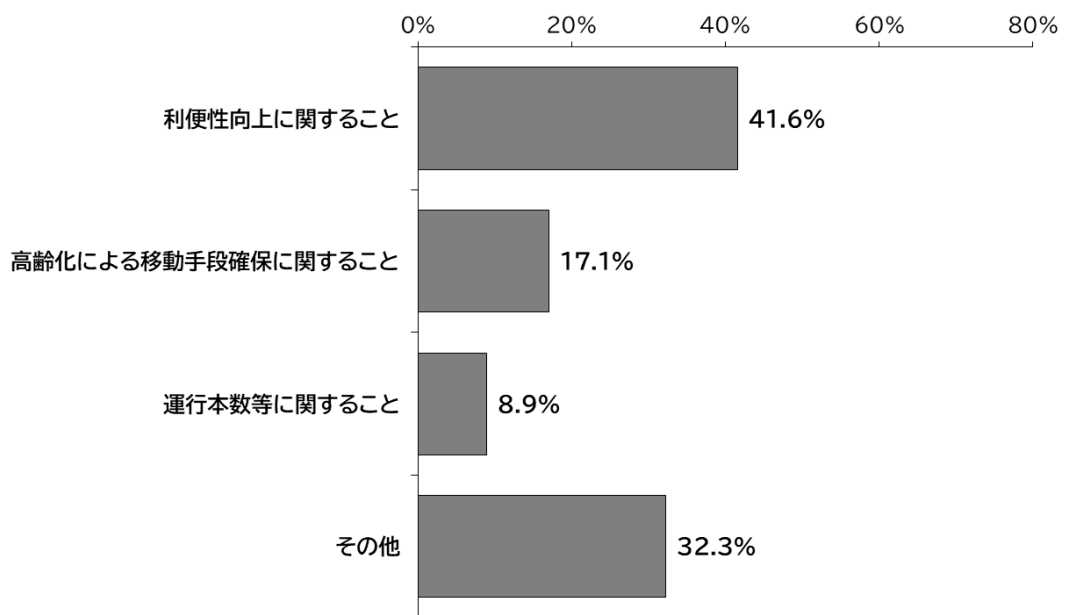
図表3-2 地区別 新路線について(n=1,585)



(3) 「早急に運行してもらいたい」意見等

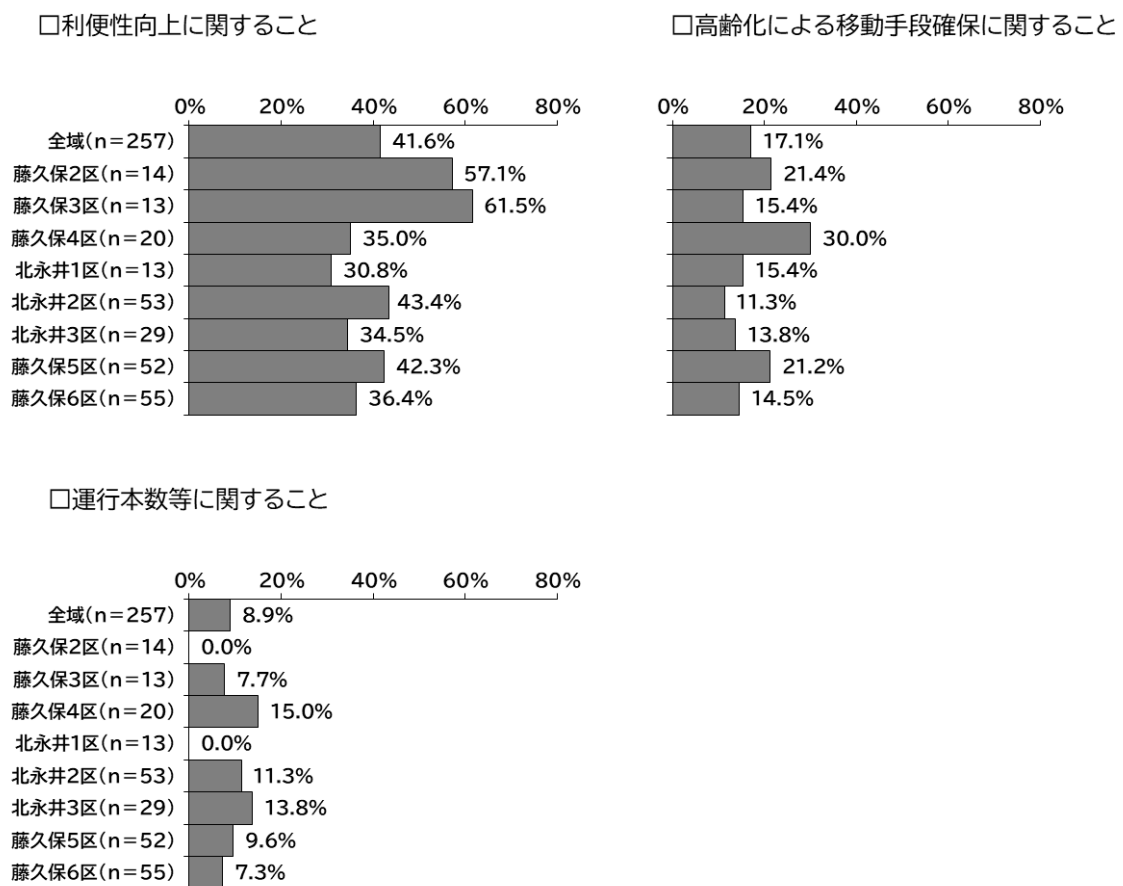
- ・ 「早急に運行してもらいたい」と回答した理由の自由意見では「利便性向上に関すること」(41.6%)が最も多く、「高齢化による移動手段確保に関すること」(17.1%)、「運行本数等に関すること」(8.9%)と続いている。

図表3-3 新路線について  
「早急に運行してもらいたい」意見等(n=257)



- ・ 「利便性に関すること」は全ての地区で3割台を超えており、藤久保3区で61.5%となっており最も多くなっている。
- ・ 「高齢化による移動手段確保に関すること」は藤久保4区で30.0%となっており最も多くなっている。
- ・ 「運行本数等に関すること」は藤久保4区で15.0%となっており最も多くなっている。

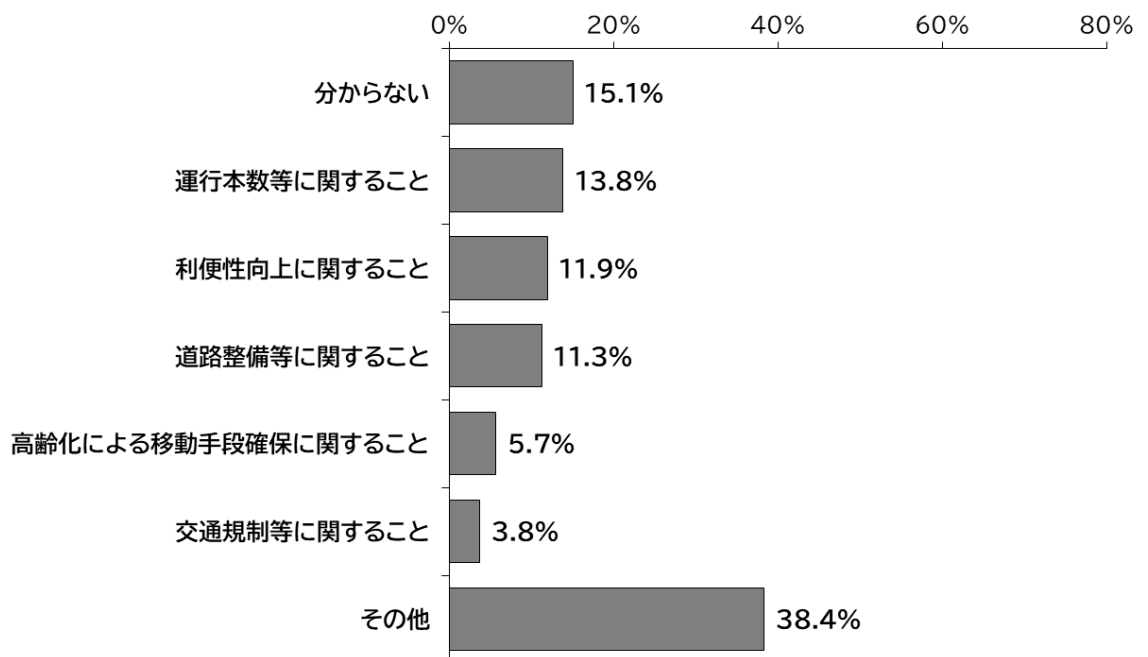
図表3-4 新路線について  
「早急に運行してもらいたい」意見等(地区別)



(4) 「どちらともいえない」意見等

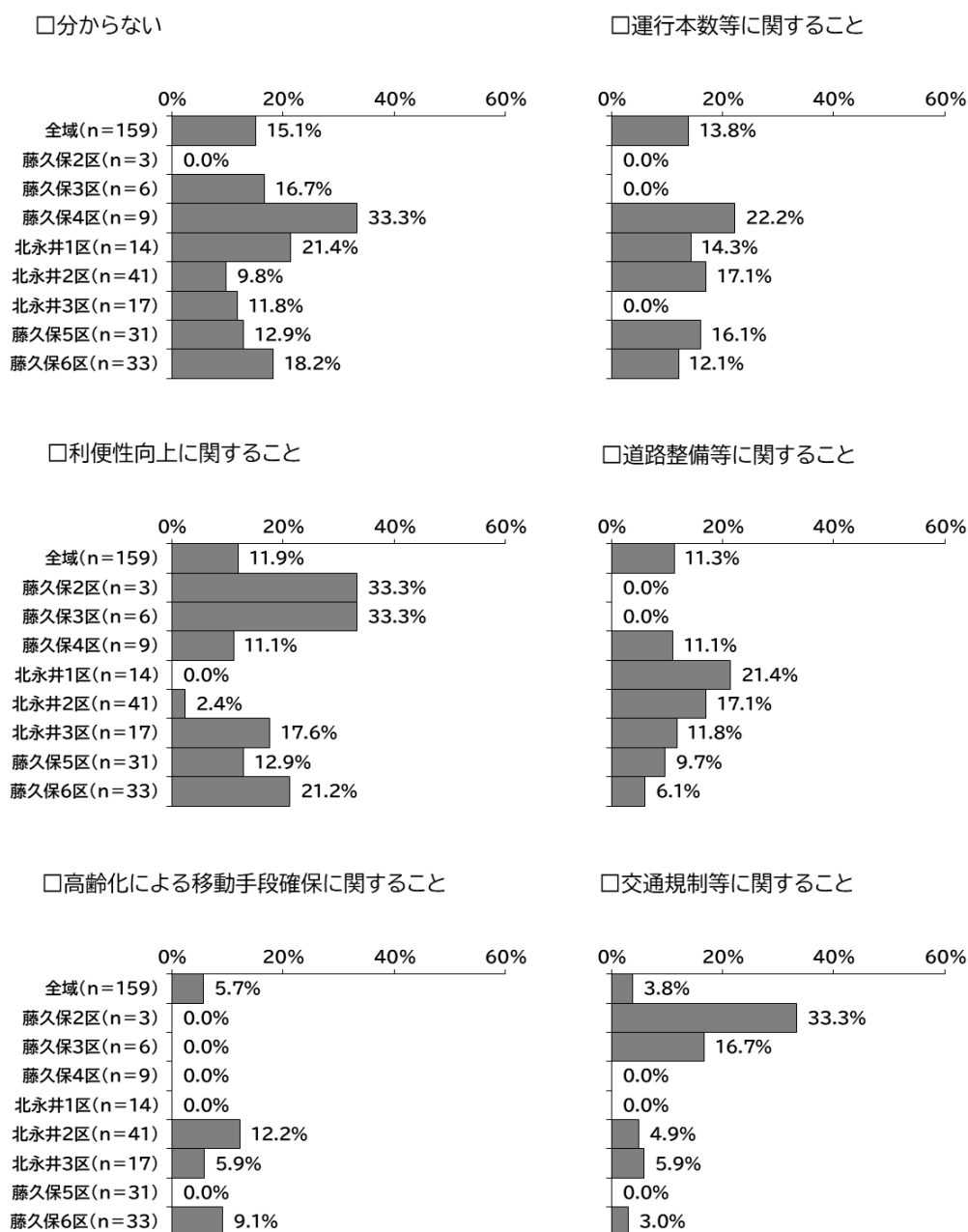
- ・ 「どちらともいえない」と回答した理由の自由意見では「わからない」(15.1%)が最も多く、「運行本数等に関すること」(13.8%)、「利便性に関すること」(11.9%)、「道路整備等に関すること」(11.3%)と続いている。

図表3-5 新路線について  
「どちらともいえない」意見等(n=159)



- ・ 「分からない」、「運行本数等に関すること」、「道路整備等に関すること」は藤久保4区が最も多くなっている。
- ・ 「利便性向上に関すること」は藤久保2区、3区で33.3%となっており最も多くなっている。
- ・ 「交通規制等に関すること」は藤久保2区で33.3%となっており最も多くなっている。

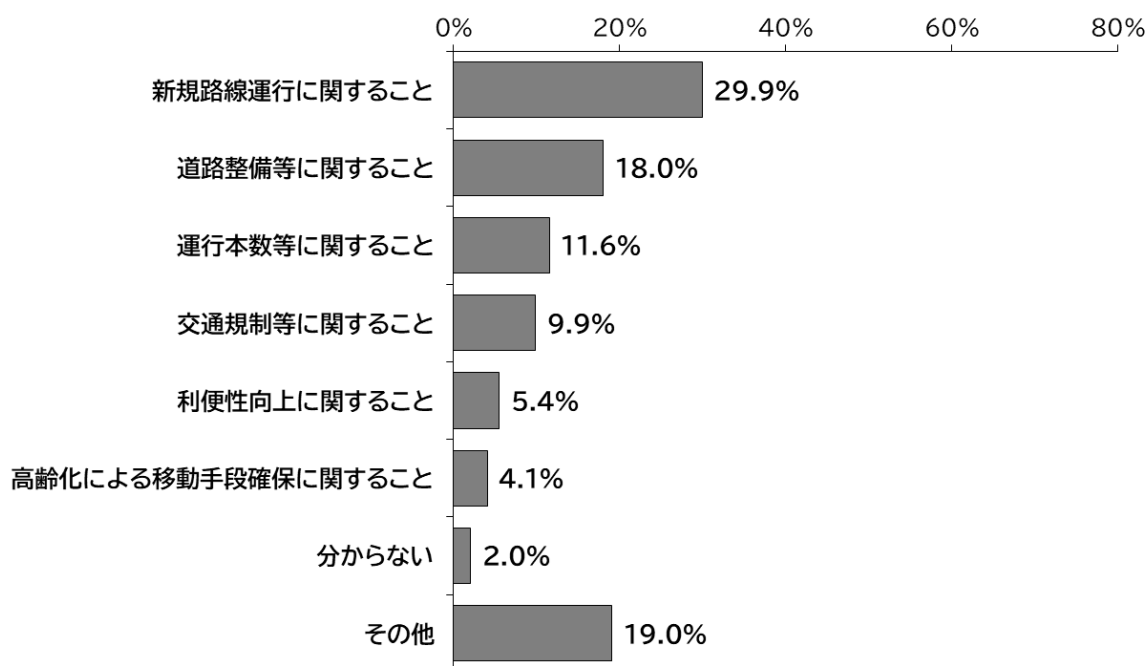
図表3-6 新路線について  
「どちらともいえない」意見等(地区別)



(5) 「その他」自由意見

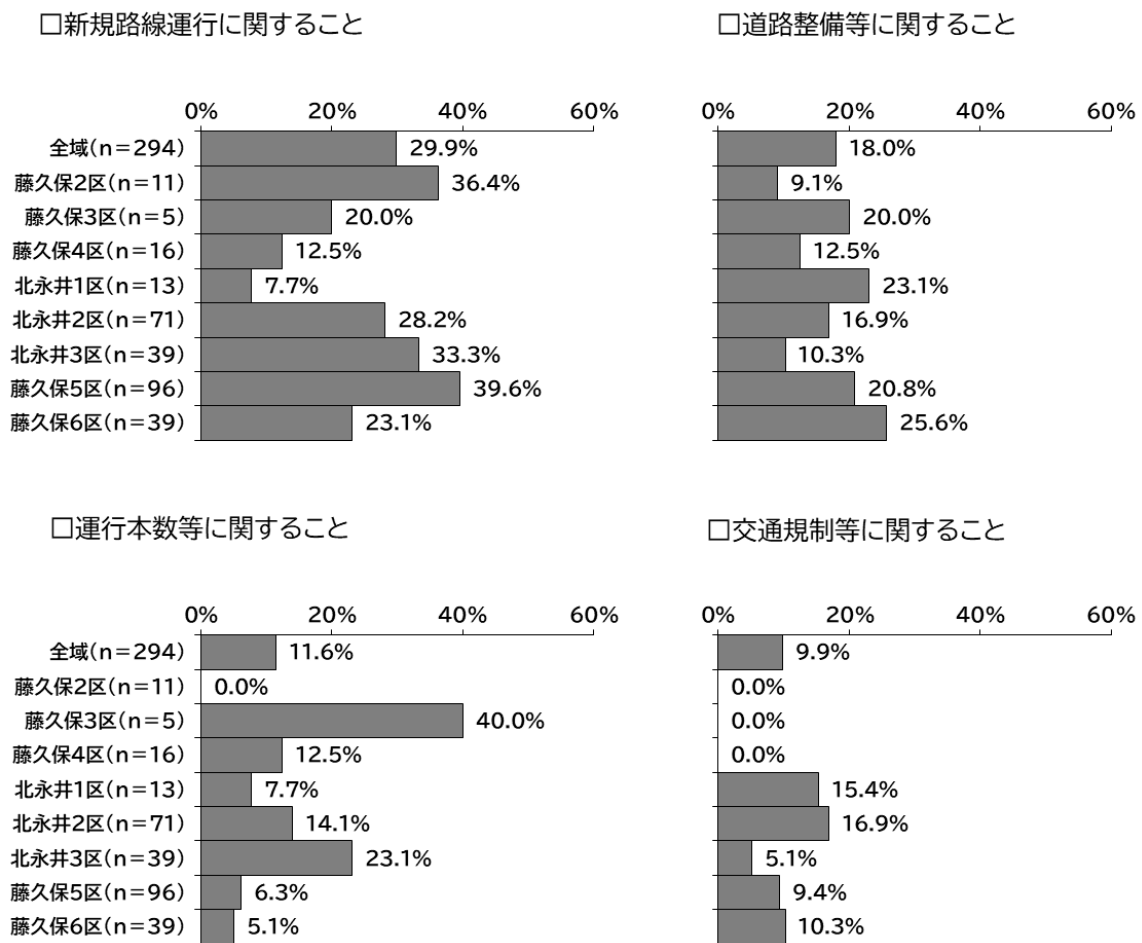
- ・ 「その他」と回答した理由の自由意見では「新規路線運行に関すること」(22.9%)が最も多く、「道路整備等に関すること」(18.0%)、「運行本数等に関すること」(11.6%)、「交通規制等に関すること」(9.9%)と続いている。

図表3-7 新路線について  
その他(自由意見)(n=159)



- ・ 「新規路線運行に関すること」は藤久保2区、5区、北永井3区で3割台を超えている。
- ・ 「道路整備等に関すること」は藤久保6区で25.6%となっており最も多くなっている。
- ・ 「運行本数等に関すること」は藤久保3区で40.0%となっており最も多くなっている。

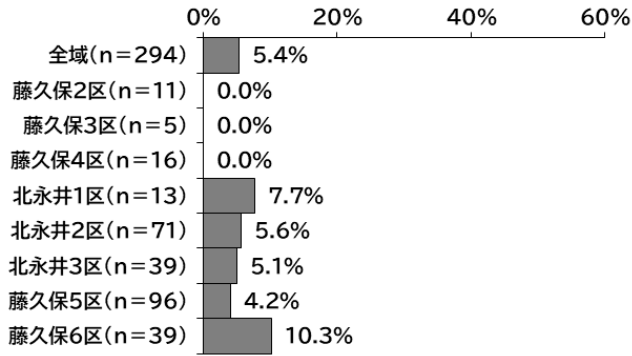
図表3-8-1 新路線について  
「どちらともいえない」自由意見(地区別)



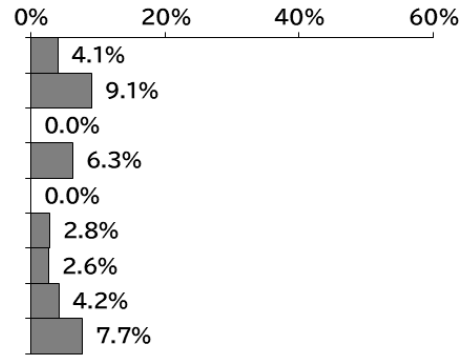


図表3-8-2 新路線について  
「どちらともいえない」自由意見(地区別)

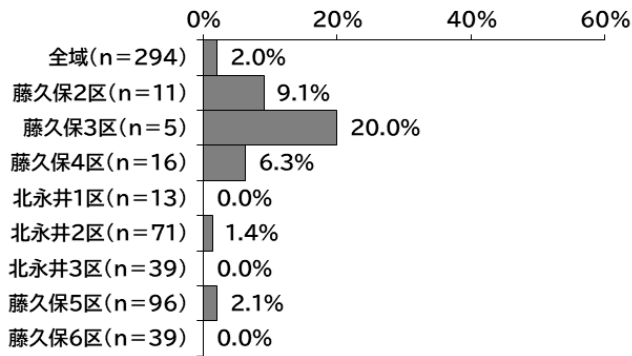
□利便性向上に関すること



□高齢化による移動手段確保に関すること



□分からない





#### IV. 参考資料

---

- ・地域の安全と新路線バスについてのアンケート調査調査票
- ・自由意見集計表



# 地域の安全と新路線バスについてのアンケート調査

## ご協力のお願い

日頃より町政にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、三芳小学校区内の町道幹線 19 号線の安全対策について、地域内から要望があり、子どもたちの安全を考え、スクールゾーンの交通規制を含めて検討することとなりました。現在、周辺の町道幹線 5 号線及び 17 号線は、スクールゾーンとなっており、平日の午前 7 時 30 分～午前 8 時 30 分（土・日・休日を除く）の間、交通規制により一般車両は通行できなくなっております。

町としましては、歩道整備を伴う道路拡幅等、安全対策が行われた町道幹線 5 号線（北永井 2 区集会所前交差点～役場入口交差点）及び 17 号線について、スクールゾーンに伴う交通規制を解除し、19 号線の安全対策を図りたいと考えております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、より多くの皆様のご意見を反映いたしたく、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 2 年 11 月

三芳町長 林 伊佐雄

### ■ご記入方法

- 選択肢の設問については、該当する□に✓をつけてください。
- 記入式の回答には、あなたの考えを簡単にまとめて枠内に記入してください。

### ■返送方法と締め切り

- ご記入後、**回答用紙のみ**同封の返信用封筒に入れ、**12月6日（日）**までにお近くの郵便ポストに投函してください。

### ■お問い合わせ先

- この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

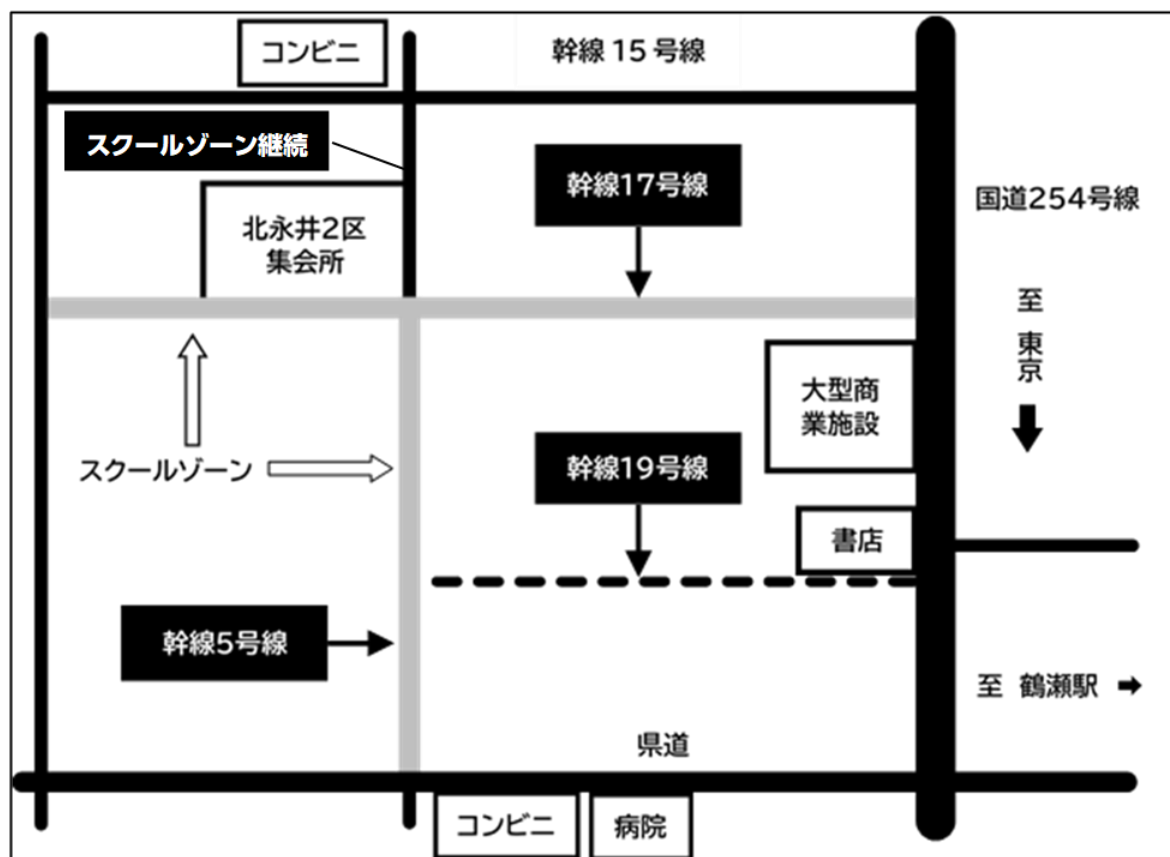
三芳町役場 政策推進室  
電話 258-0019（内線 422・423）

# 子どもたちの安全を守る 通学安全対策方針

道路名	町道幹線 19 号線	町道幹線 5 号線（一部）・17 号線
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過車両 250 台（1 時間）</li> <li>・学校・P T A から安全対策の要望有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備済</li> <li>・安全対策実施</li> <li>・安全対策済の幹線道路の見直し警察指導</li> </ul>
方針	<b>安全対策の強化</b>	<b>スクールゾーン解除</b>

**19 号線流入車両を  
5号線（一部）・17号線へ**

## 【各幹線道路】



## 【スクールゾーンとは】

**スクールゾーン**とは小学校などを中心に概ね**半径500mの通学路**に設定されます。「交通安全対策基本法第24条」に基づき、学校及び教育委員会の働きかけにより、警察や道路管理者が協議して道路交通法上の規制をかけております。

当該地域は、**半径500m外**であり、**学校、PTAからの19号線の安全対策の要望**や5号線（一部）・17号線の**歩道整備がされた**ことによる各路線の**安全対策の強化**や見直しを行っていきます。

## 【町道幹線19号線について】

国道254号から幹線5号線へ通じる道路で、歩道はなく、グリーンベルトはあるものの通学時間帯には、すれ違う車の脇を子どもや自転車が通行している状況であり、**1時間**（午前7時30分から午前8時30分）**で250台程度の通過車両**があります。

- ・学校、PTAから町道幹線19号線の**安全対策の要望**があること。
- ・19号線をスクールゾーンとして規制するなど、**子どもたちの安全を確保**。
- ・ただし、5号線・17号線のスクールゾーン解除ができないと周辺地域がスクールゾーンに囲まれてしまい**移動に不便**が生じること。
- ・5号線・17号線の歩道が整備され**交通規制基準から見直し**の必要があること。

以上のことから、

- ・19号線の流入車両を5号線・17号線に流すことで19号線の交通量減らすため安全対策を図っていききたい。

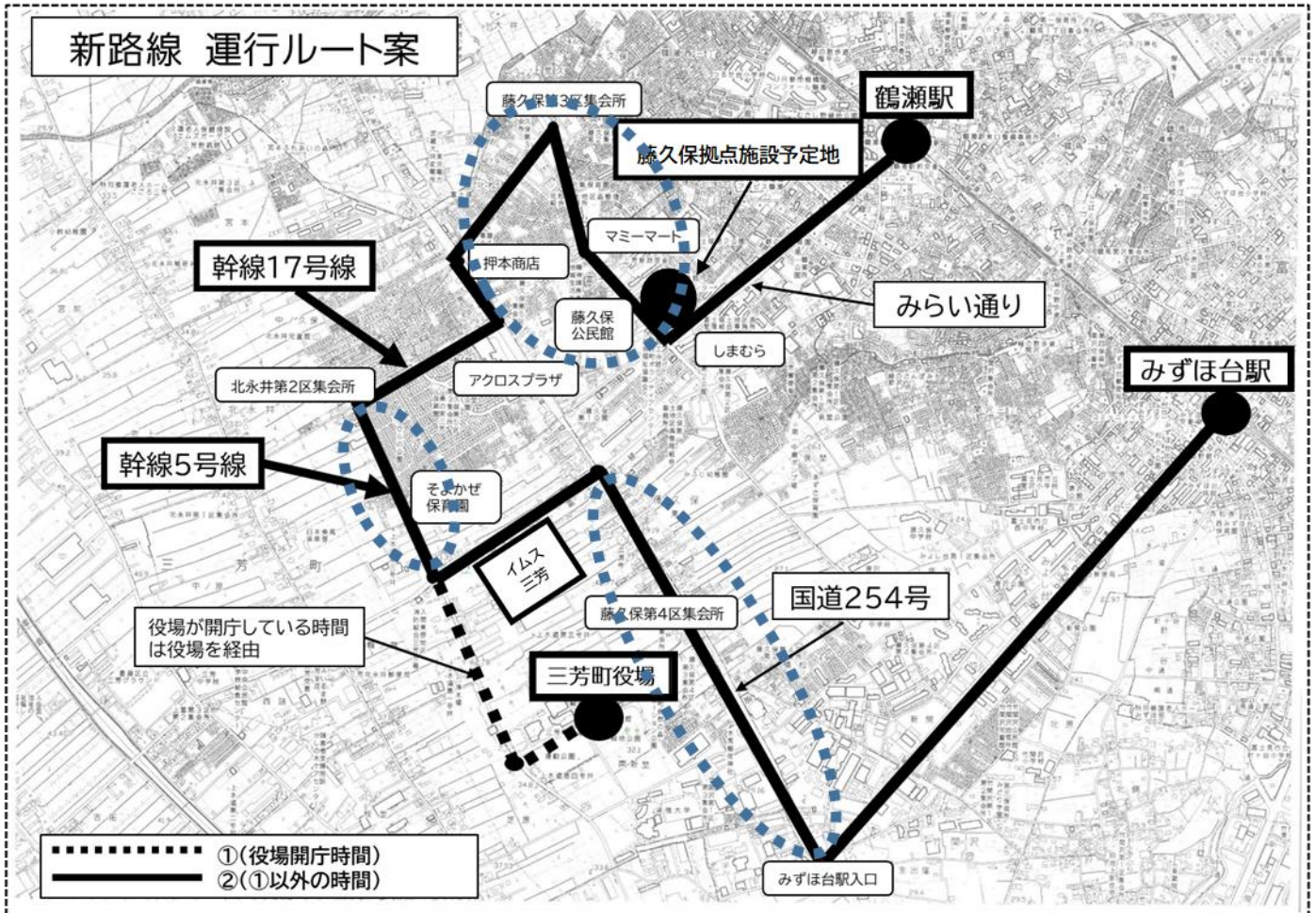
## 【町道幹線5号線及び17号線について】


これまで、地域住民の要望に応じて5号線・17号線は、**歩道整備を行ってきました**。**交通規制基準に基づき**歩道が整備された場合スクールゾーン等の**必要な見直し**を行うこととなっております。

19号線の安全対策が、学校・PTAから要望されていることから

- ・5号線・17号線のスクールゾーンを解除して、19号線の流入車両を5号線・17号線に流し、**19号線の交通量を減らすための安全対策の強化**。
- ・一方で、17号線においては路線バスが走っており、現在、スクールゾーンの**解除を前提に通行を許可されている**。
- ・今後、スクールゾーンの解除ができないとバスの**新路線だけではなく、既存路線にも影響**を与える。

## 【ライフバス新路線運行ルート案】



※  新たにバス路線が通るエリア

## 【ライフバス新路線について】

町内の重要な地域公共交通であるライフバスの新路線について平成29年度より計画してまいりました。**新路線では鶴瀬駅とみずほ台駅を往復し、町の主要施設である役場、藤久保拠点施設や病院などを経由し幹線5号線、17号線を通るルートとなっております。**なお、この新路線については現在バス路線が通っていない**藤久保2区・3区・4区・6区の地域**も運行するルートとなっており、**新たに6,000人から8,000人の利用**が見込まれ、大変多くの住民の皆様から早期運行を望む声が多く寄せられているところです。



# アンケート回答用紙

質問1 あなたのお住まいの地域について該当する項目に☑をつけてください。

- (1) 北永井1区 (2) 北永井2区 (3) 北永井3区 (4) 藤久保2区 (5) 藤久保3区  
(5) 藤久保4区 (6) 藤久保5区 (7) 藤久保6区  
(8) その他

質問2 19号線は、学校・PTAから安全対策の要望が出されていますが、その一つとしてスクールゾーンにより通行を規制(午前7時30分から8時30分までの1時間)することをどう考えますか?該当する項目に☑をつけてください。

- (1) 賛成である  
(2) 反対である

理由


- (3) その他

--

質問3 歩道が整備され安全性が確保された町道幹線5号線(北永井2区集会所前交差点～役場入口交差点)と幹線17号線のスクールゾーン(通行規制)の解除を行うことについて、どの様にお考えですか。該当する項目に☑をつけてください。

- (1) 賛成である (①5号線と17号線 ・②5号線のみ ・③17号線のみ)  
(2) 反対である

理由


- (3) その他(解除に向けた条件等)


質問4 町では平成29年度より、ライフバスが運行していない地域に新路線を運行する計画をしております。町道幹線5号線、17号線については歩道整備がされ、安全対策を行ったことによりスクールゾーンを解除して新路線の開通についてのご意見をお聞かせください。

- ①早急に運行してもらいたい。  
②どちらともいえない。  
③その他(自由意見)


※アンケート調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。



## 自由意見集計

【質問2】 町道幹線19号線のスクールゾーンによる通行規制について

(賛成理由)

理由	件数
子どもの安全のため	139
道幅が狭い（見通しが悪い）ため	245
ガードレール設置、歩道設置等の安全対策がされていないため	120
通行車両がスピード出すため	50
車両通行量が多いため（増えたため）	76
学校・PTAの要望があるため	8
17号線、5号線が解除されるなら賛成	19
その他	91

(反対理由)

理由	件数
道路拡幅、歩道設置等の安全対策を優先すべき	34
生活道路であるため	11
他の幹線道が渋滞するため	14
通勤・通学や送迎等に不便が生じるため	32
規制内容や通学路等を見直す	11
その他	46

(その他)

理由	件数
他の交通規制に関すること	2
道路整備等に関すること	14
スクールゾーンの時間帯に関すること	5
通学路の見直しに関すること	2
(地域外等のため) 分からない	23
その他	25

【質問3】 町道幹線5号線と17号線のスクールゾーンによる通行規制の解除について

(賛成理由)

理由	件数
歩道等が整備され安全性が確保されているため	277
通勤・通学等、移動や生活の利便性が上がるため	56
他の幹線道等の渋滞緩和のため	33
その他	149

(反対理由)

理由	件数
ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため	19
交通量増加、車両のスピード超過が懸念されるため	24
子どもの登校時の安全確保のため	16
その他	17

その他（解除に向けた条件等）

理由	件数
ガードレール設置、歩道整備等の安全対策が十分でないため	13
交通規制（制限速度等）に関すること	5
分からない	15
その他	19

【質問4】 ライフバス新路線の運行について

(早急に運行してもらいたい)

理由	件数
利便性向上に関する事	107
高齢化による移動手段確保に関する事	44
運行本数等に関する事	23
その他	83

(どちらともいえない)

理由	件数
利便性向上に関する事	19
高齢化による移動手段確保に関する事	9
運行本数等に関する事	22
道路整備等に関する事	18
交通規制等に関する事	6
分からない	24
その他	61

その他(自由意見)

理由	件数
利便性向上に関する事	16
高齢化による移動手段確保に関する事	12
運行本数等に関する事	34
道路整備等に関する事	53
交通規制等に関する事	29
分からない	6
新規路線運行に関する事	88
その他	56